

第3節 生物の現状把握

1. 生物の現状
2. 特徴的な種
3. 生息環境の現状
4. 特徴的な生息環境
5. 生息環境保全の現状

1. 生物の現状

1.1 淀川水系の特徴

【淀川本川の特徴】



汽水域

ワンド

原野と
野草地帯

鶺鴒の
ヨシ原

昆虫が豊富
な地区

1.1 淀川水系の特徴

【河口～淀川大堰の生息生物】

西中島地区の干潟



汽水域や干潟には、他地区で見られない生物が生息しています。河川敷には、ヨシ原が点在しています。

特徴的な魚類



ボラ 全長約28cm



スズキ 全長約50cm

都心にある有数の水鳥の生息地



特徴的な植物



シオクグ
高さ30
～60cm



ウラギク
高さ約50cm

特徴的な鳥類



カワウ 全長約82cm



ホシハジロ
全長約45cm

1.1 淀川水系の特徴

【淀川大堰～鳥飼大橋の生息生物】



淀川の特徴的なwandが多数存在しています。wandは本川とは異なった自然環境を有しており、生物相を多様化しています。

特徴的な鳥類



シラザキ
全長約93cm



コアジサシ
全長約28cm

特徴的な植物



ヤガミスゲ
高さ40～60cm



タコノアシ
高さ30～100cm

特徴的な魚類



ニゴイ 全長40～50cm



ギンブナ 全長15～30cm

1.1 淀川水系の特徴

【鳥飼大橋～枚方大橋の生息生物】



河川公園が整備された前面には原野性植物が残っているところがあります。

特徴的な鳥類



カワラヒワ
全長約14cm



ユリカモメ
全長約40cm

特徴的な植物



オギ
高さ約2m



セイトカ
アワダチソウ
高さ約2.5m

特徴的な魚類



オイカワ
全長8～15cm



ハス 全長20～30cm

1.1 淀川水系の特徴

【枚方大橋～三川合流手前の生息生物】



夏場にオオヨシキリの大繁殖地となる鵜殿には、多くの生物が生息しています。

特徴的な鳥類



ムクドリ
全長約24cm



オオヨシキリ
全長約18cm

特徴的な魚類



カマツカ 全長12～22cm

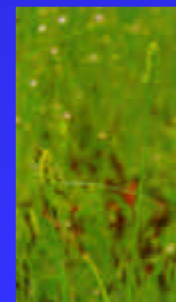


コウライウロコ 全長約15cm

特徴的な植物



ハンゲショウ
高さ50～100cm



ミコシガヤ
高さ30～60cm

1.1 淀川水系の特徴

【三川合流付近の生息生物】



三川合流付近の河川敷は野草が繁茂しているところもあり、昆虫類の生息場となっています。

特徴的な鳥類



ホオジロ
全長約16cm



コサギ
全長約61cm

特徴的な魚類



カワヒガイ 全長6~12cm



モツゴ 全長6~9cm

特徴的な植物



セイタカヨシ
高さ約4m



ツルヨシ
高さ約2m

1.1 淀川水系の特徴 【宇治川の生息生物】



向島にはヨシ、オギの大群落があり、動物、昆虫の生息場所となっています。

特徴的な鳥類



オオヨシキリ
全長約18cm



ツバメ
全長約17cm

特徴的な魚類



アユ 全長10～30cm



コウライモロコ 全長約15cm

特徴的な植物



ヨシ 高さ3～4m

1.1 淀川水系の特徴 【天ヶ瀬ダム of 生息生物】



山地性の鳥類が確認されています。
また、琵琶湖だけにいる魚が
確認されていることも
特徴の一つです。



アジメドジョウ 全長8~10cm

特徴的な鳥類

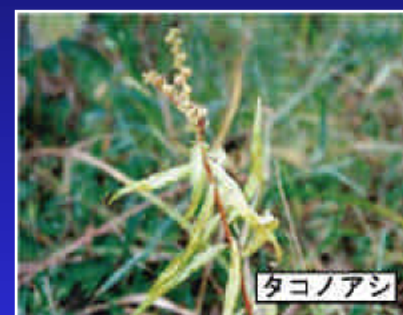


トモエガモ 全長約43cm



ミサゴ 全長約64cm

特徴的な植物



タコノアシ
高さ30~100cm

特徴的な魚類、爬虫類



タゴガエル 全長30~50mm



トキノウ
高さ10~30cm

1.1 淀川水系の特徴 【瀬田川の生息生物】



洗堰下流部は様々な動植物の生息域となっています。

特徴的な鳥類



カンムリカイツブリ
全長約56cm



ヤマセミ
全長約38cm

特徴的な魚類



オイカワ 全長約15cm

特徴的な小動物



ニホンザル 頭胴長50～70cm

特徴的な植物



タコノアシ 高さ30～85cm

1.1 淀川水系の特徴 【桂川の生息生物】



三川合流以下では見られない
ウグイが生息しています。

特徴的な鳥類



ハマシギ
全長約21cm



カルガモ
全長約60cm

特徴的な植物



オギ 高さ約2m

特徴的な魚類



オイカワ 全長8~15cm



ウグイ 全長20~30cm

1.1 淀川水系の特徴 【日吉ダムの生息生物】



特徴的な魚類

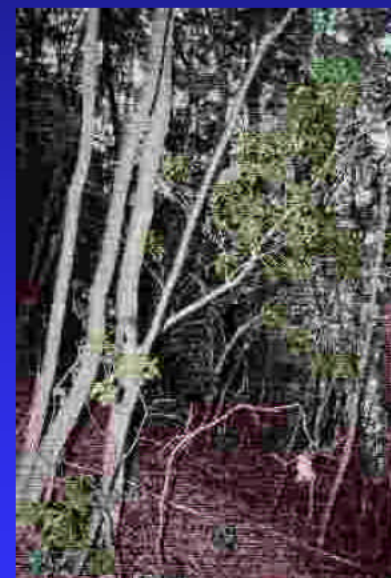


ギンブナ



オイカワ

特徴的な植物

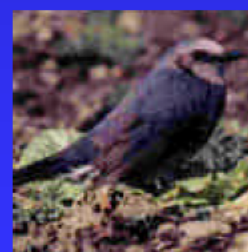


コナラ

特徴的な鳥類



アオサギ



ヒヨドリ

1.1 淀川水系の特徴

【木津川下流域の生息生物】



木津川下流域の特徴として砂河川が挙げられます。

特徴的な鳥類



ヤマセミ
全長約37cm



ケリ
全長約35cm

特徴的な魚類



カマツカ 全長12~22cm



アユ 全長10~30cm

特徴的な植物

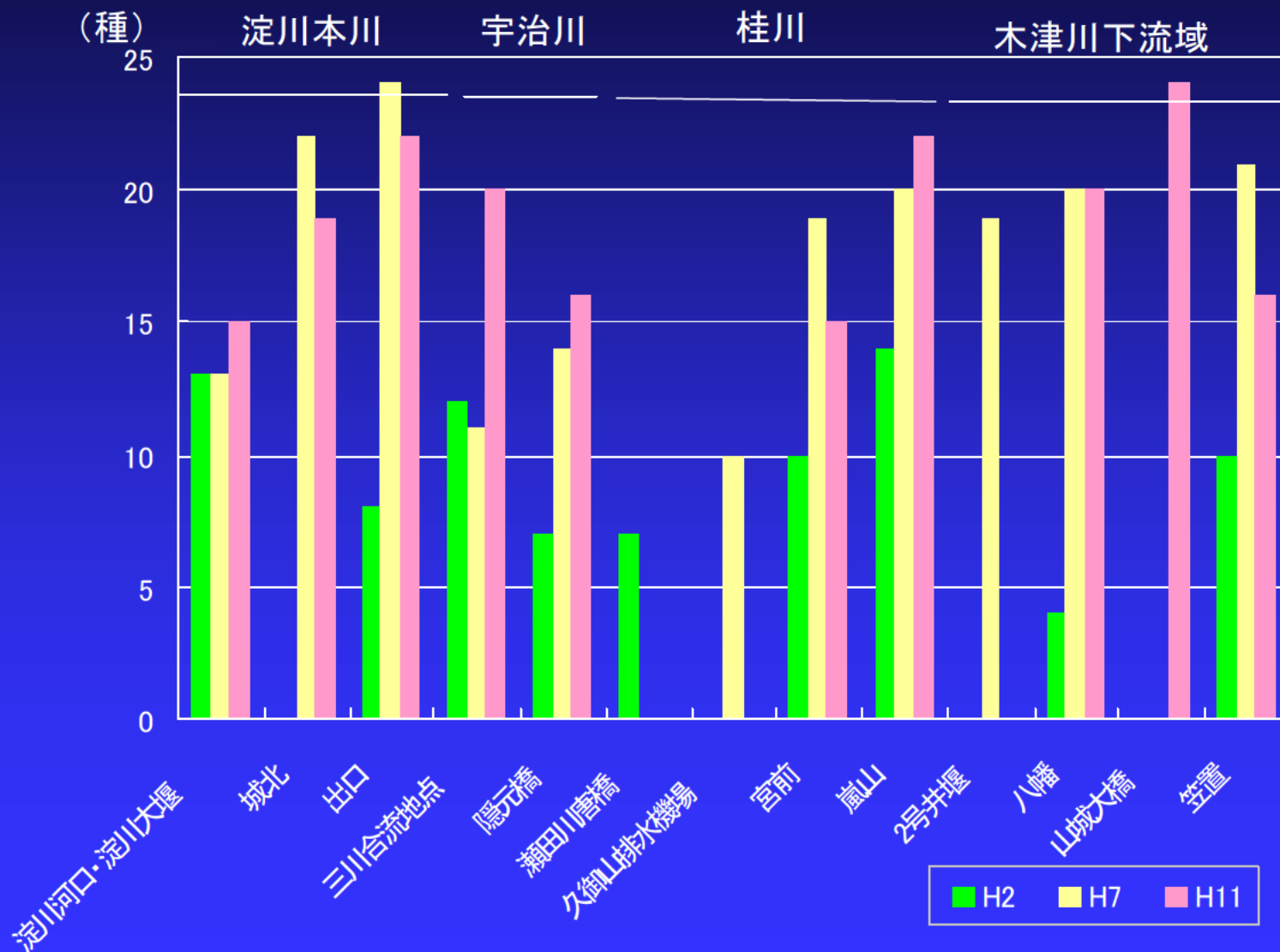


ツルヨシ 高さ2m

1.2 魚介類

【淀川本川及び3支川の確認魚種】

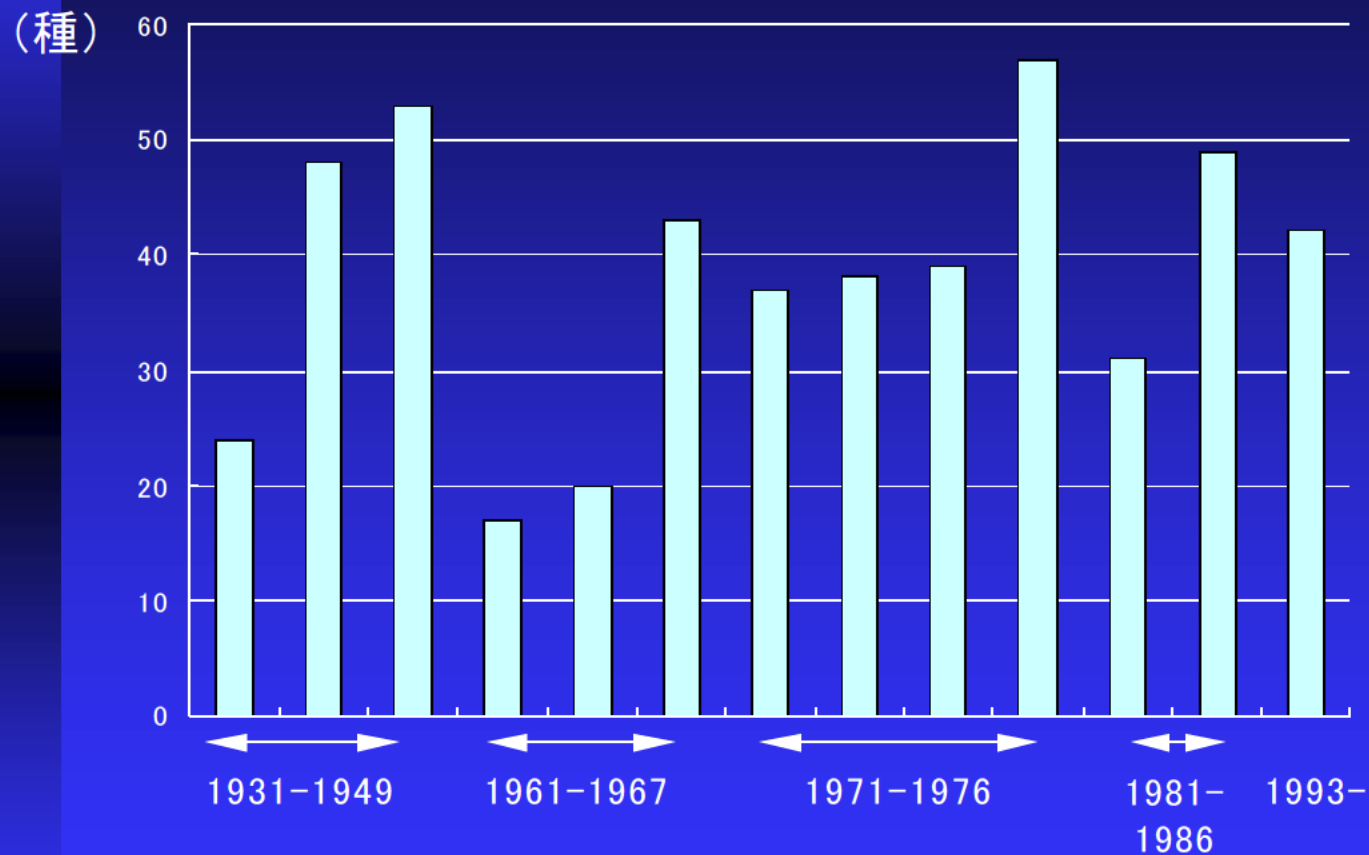
* 但し、久御山排水機及び2号井堰は調査回数1回。H2調査は1回のみ。



出典：平成2、7、11年度 河川水辺の国勢調査

1.2 魚介類

【淀川本川の確認魚種】

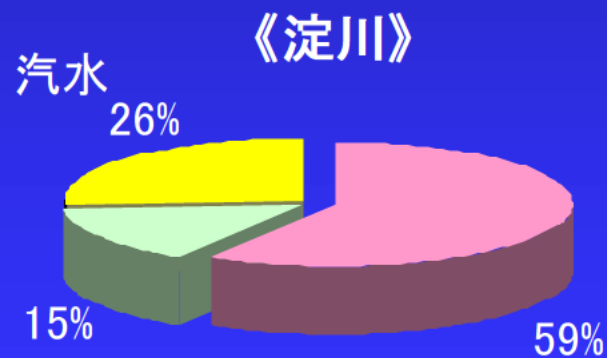
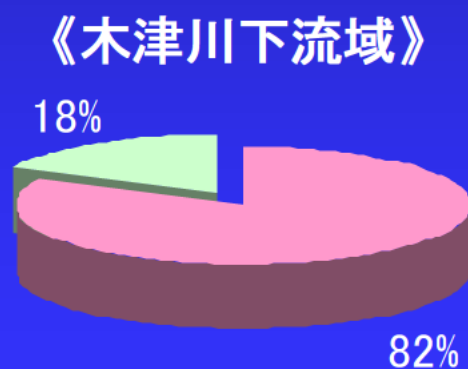
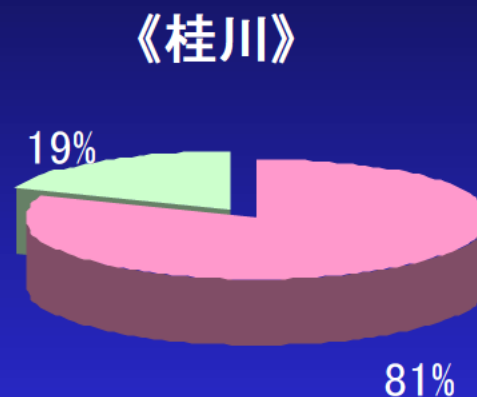
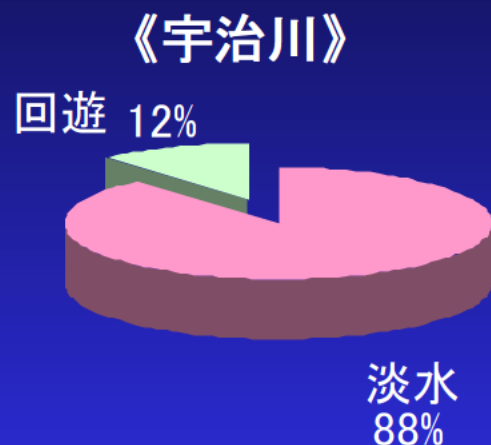


出典:平成12年度 淀川生態環境調査検討業務

*ただし、調査地点などが年度によって異なります。

1.2 魚介類

【淀川本川及び3支川の確認魚種の区分(平成11年度)】

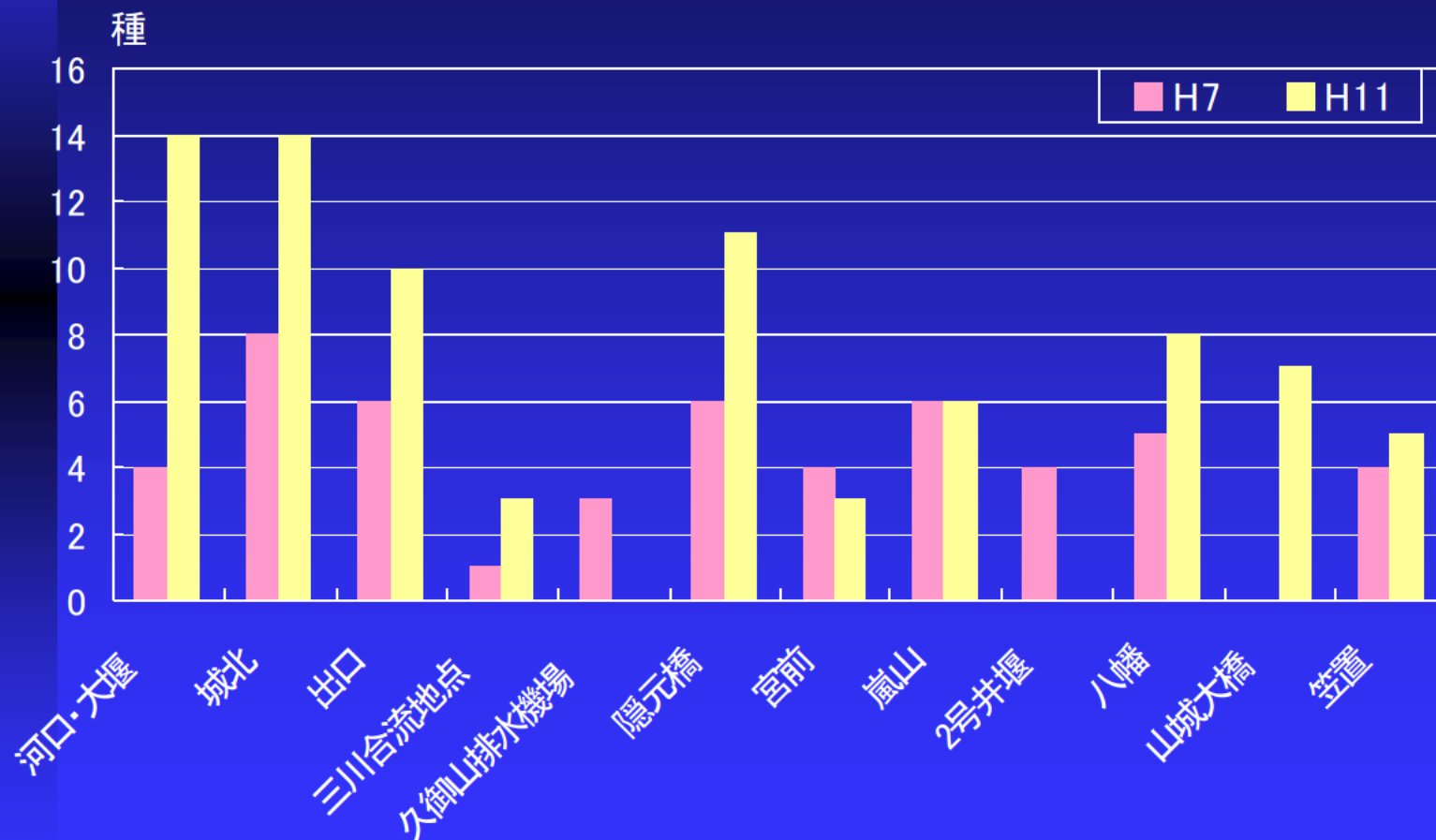


出典:平成11年度 河川水辺の国勢調査

1.2 魚介類

【淀川本川及び3支川のエビ・カニ・貝の確認種】

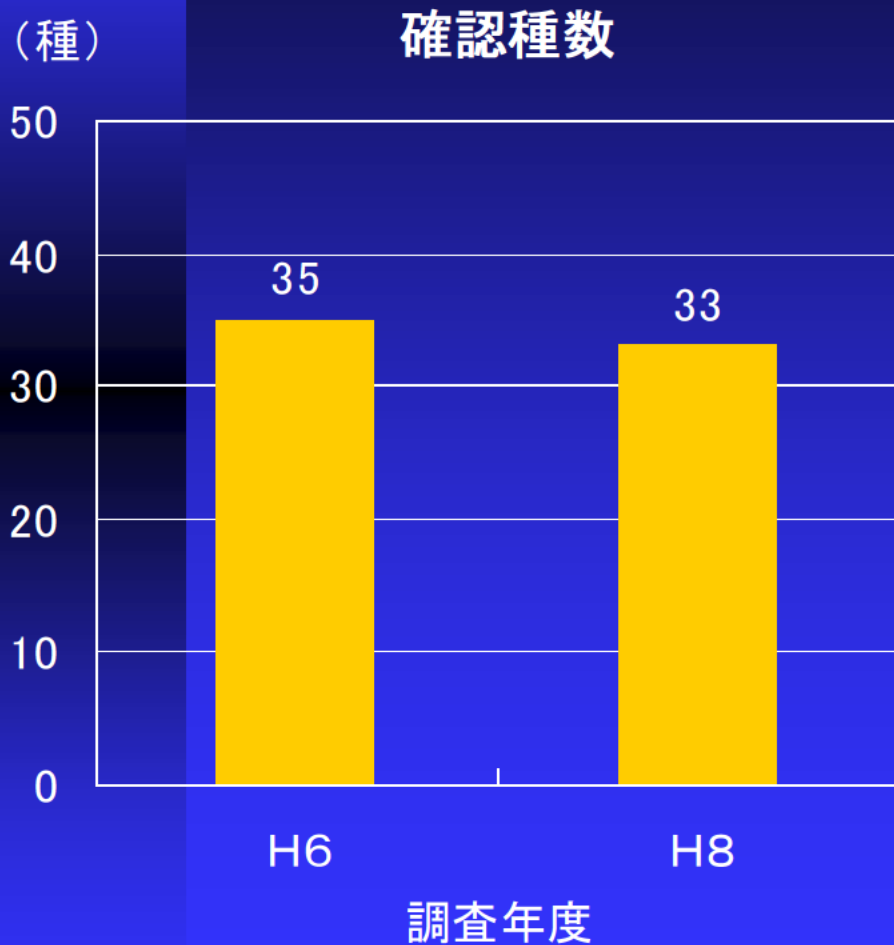
* 但し、久御山排水機場、2号井堰、山城大橋は一カ年の記録のみ。



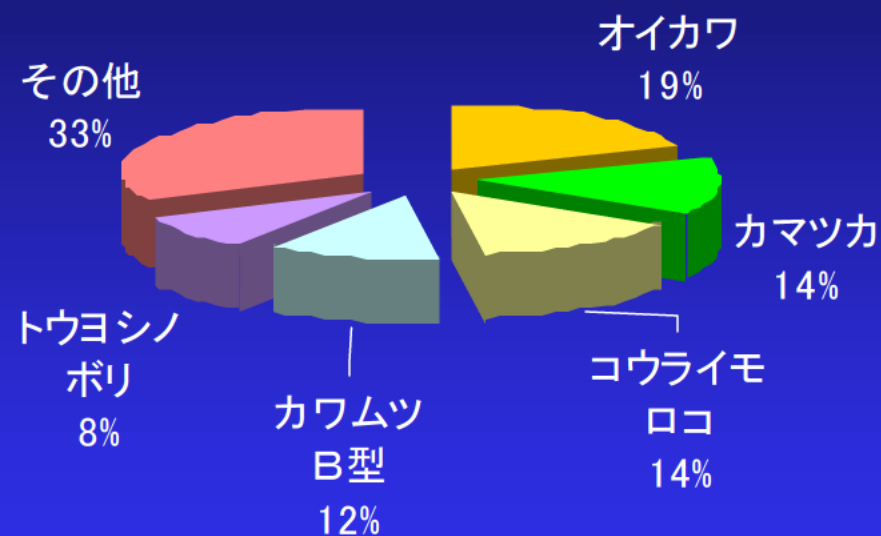
出典：平成7、11年度 河川水辺の国勢調査

1.2 魚介類

【天ヶ瀬ダムの確認魚種】



魚種別個体数組成 (平成8年度)

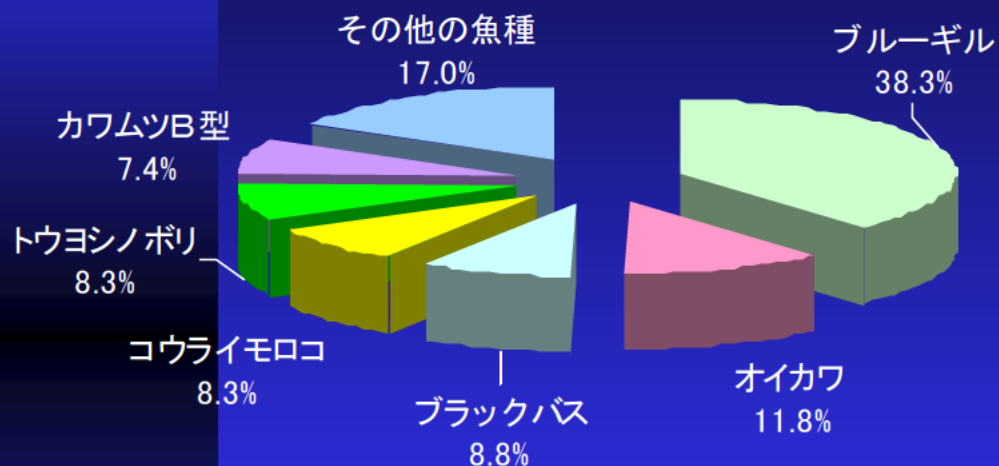


出典:平成6,8年度 河川水辺の国勢調査

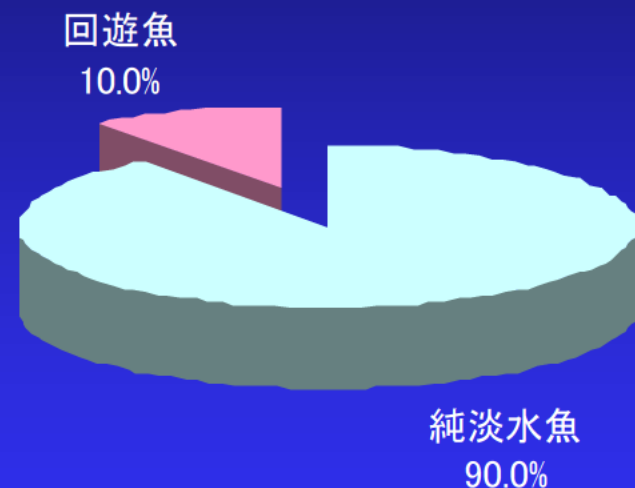
1.2 魚介類

【瀬田川の確認魚種】

《魚種別個体数組成》



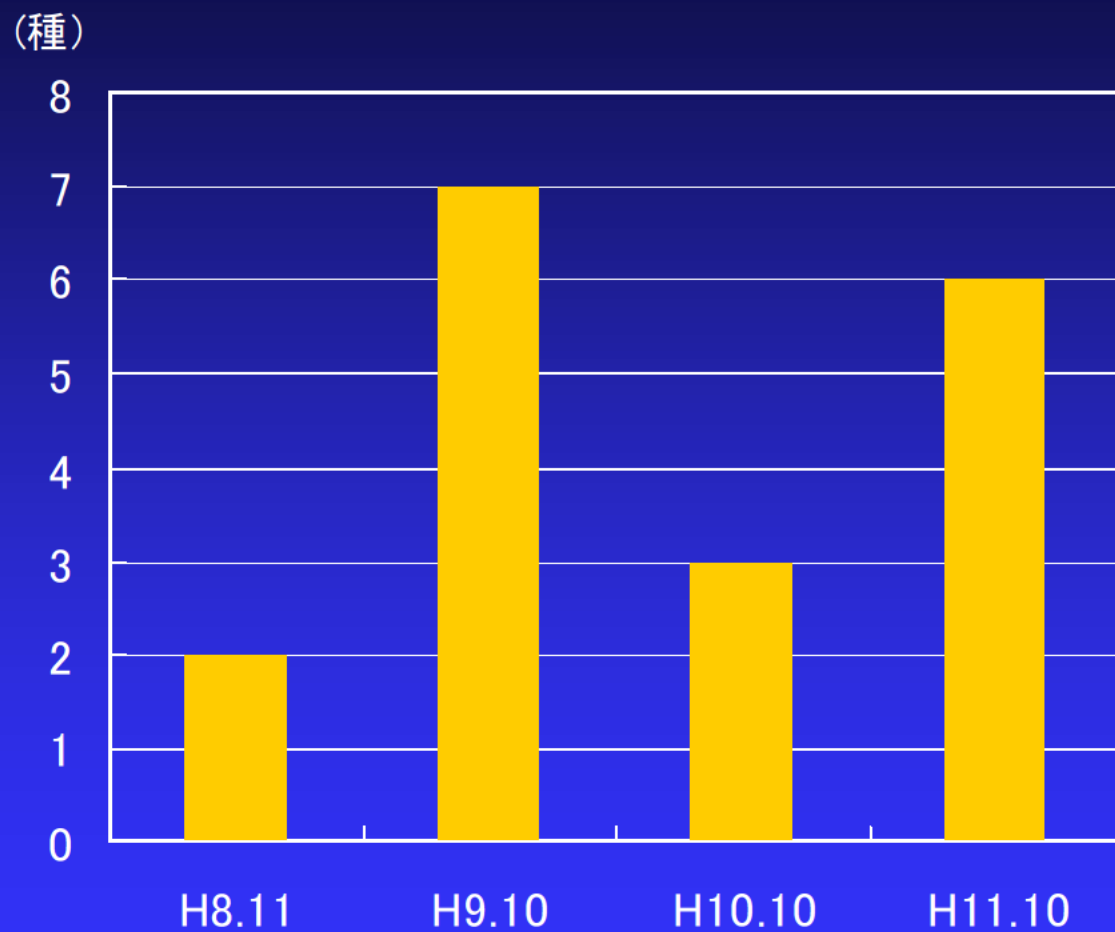
《生活型別種類数(30種)》



平成9年度の調査で最も多く確認されたのは外来種のブルーギルです。

1.2 魚介類

【日吉ダムの確認魚種】

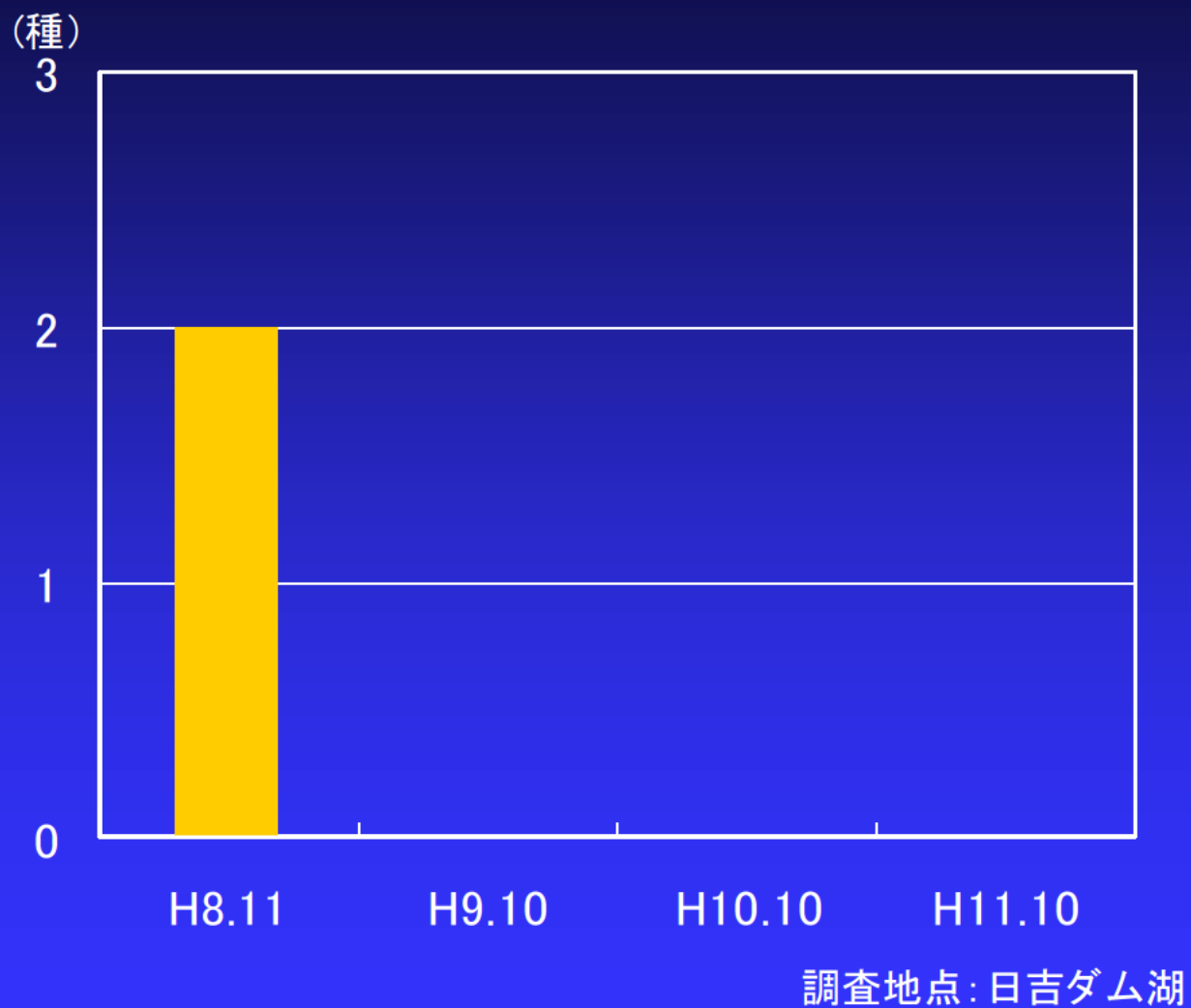


調査地点: 日吉ダム湖

出典: 日吉ダムモニタリング調査

1.2 魚介類

【日吉ダムにおける貝類・甲殻類の確認種】



1.2 魚介類

【増加、減少傾向にある魚介類】

〔増加傾向にある魚貝類〕

ブルーギル、ブラックバス、ジャンボタニシ等



〔減少傾向にある魚貝類〕

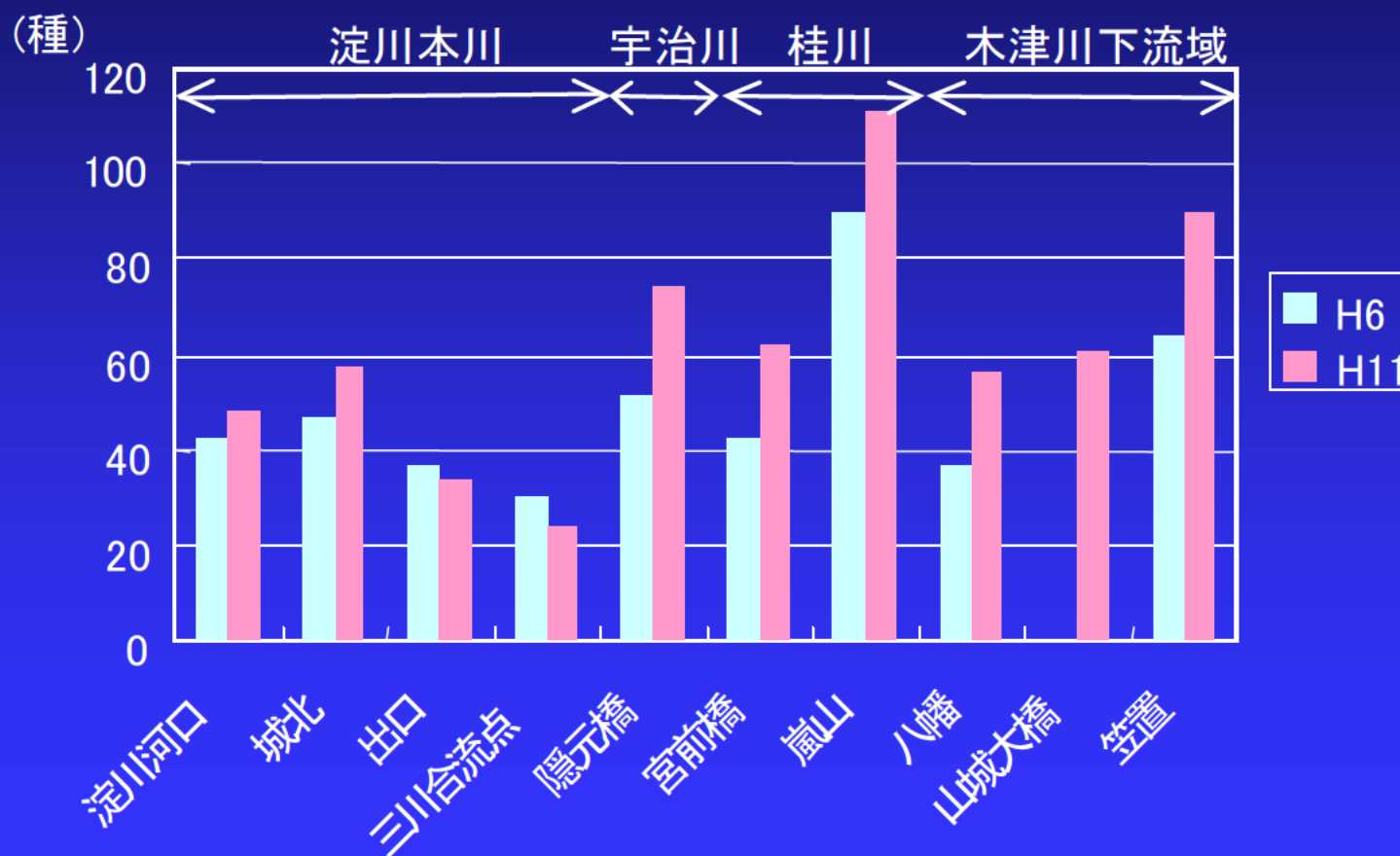
スジシマドジョウ、イタセンパラ、アユモドキ等



1.3 底生生物

【淀川本川及び3支川の確認種】

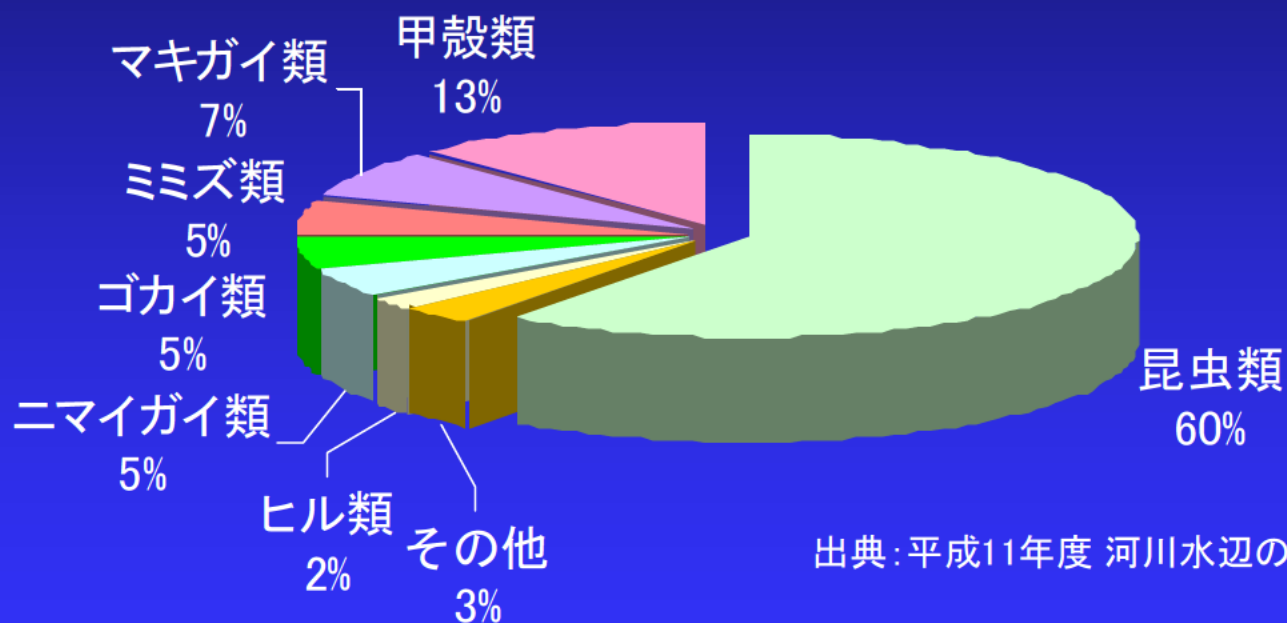
* 但し、分類区分が細かくなり、見かけ上、増加分もあります。
山城大橋は一カ年の記録のみです。



1.3 底生生物

【淀川本川及び3支川の確認種の区分(平成11年度)】

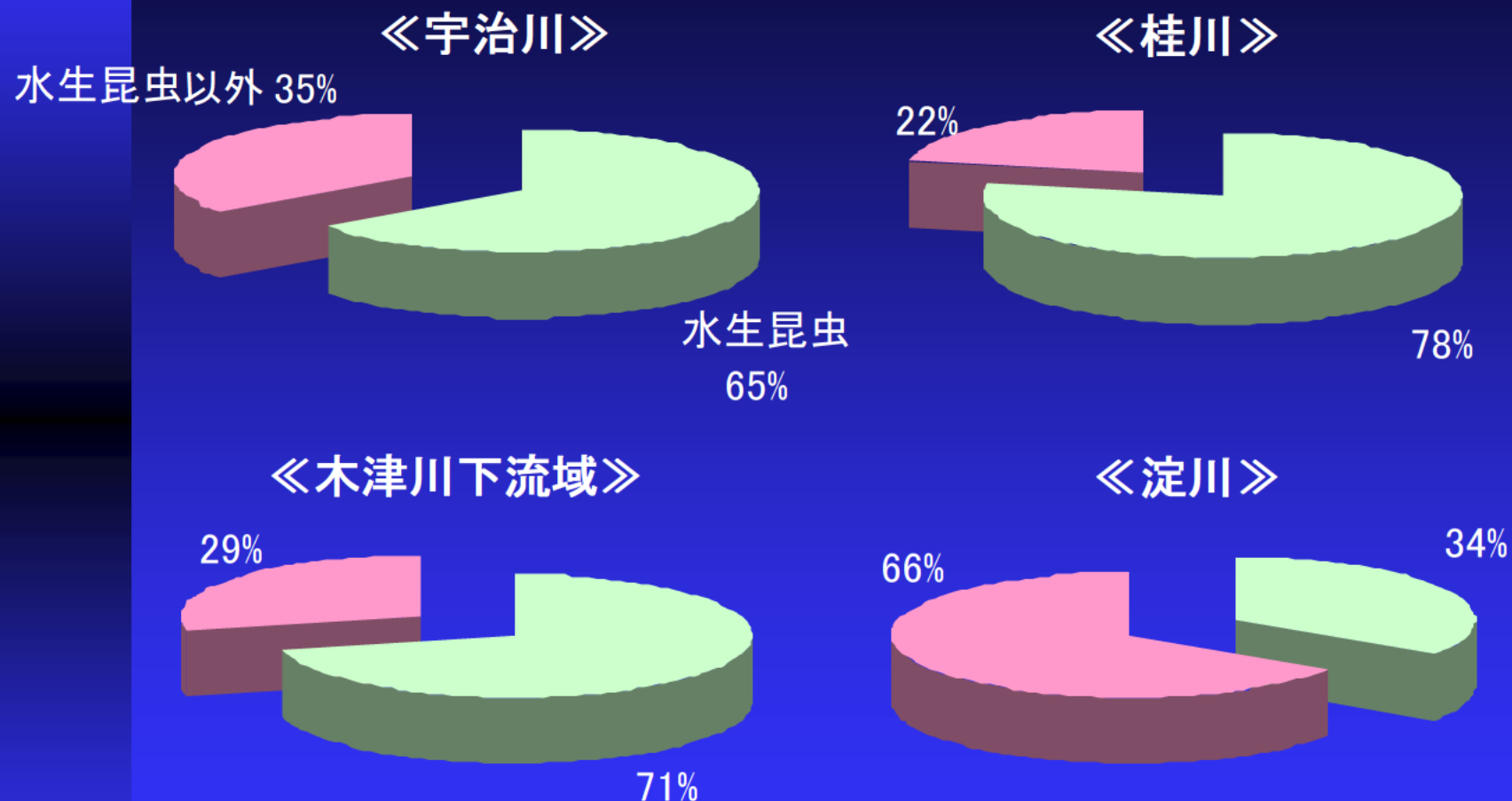
底生生物の約60%はトンボ、カゲロウ等の水生昆虫です。



出典:平成11年度 河川水辺の国勢調査

1.3 底生生物

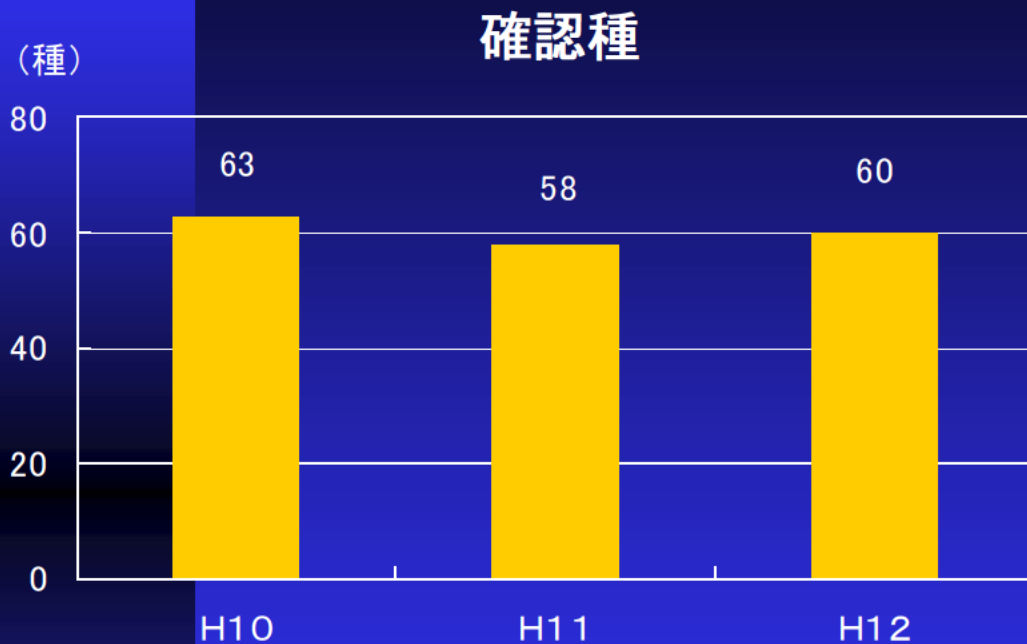
【淀川本川及び3支川の確認種の区分(平成11年度)】



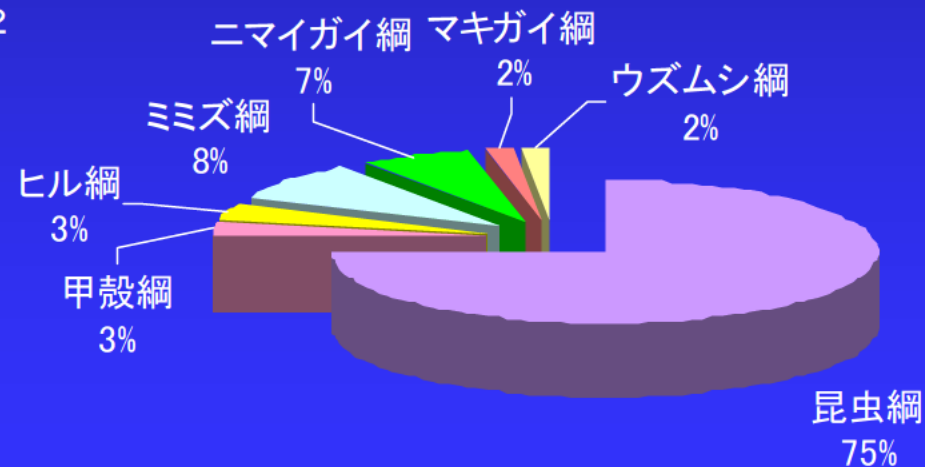
淀川と3支川の構成は大きく異なっています。

1.3 底生生物

【天ヶ瀬ダムの確認種】



確認種区分
(平成12年度)



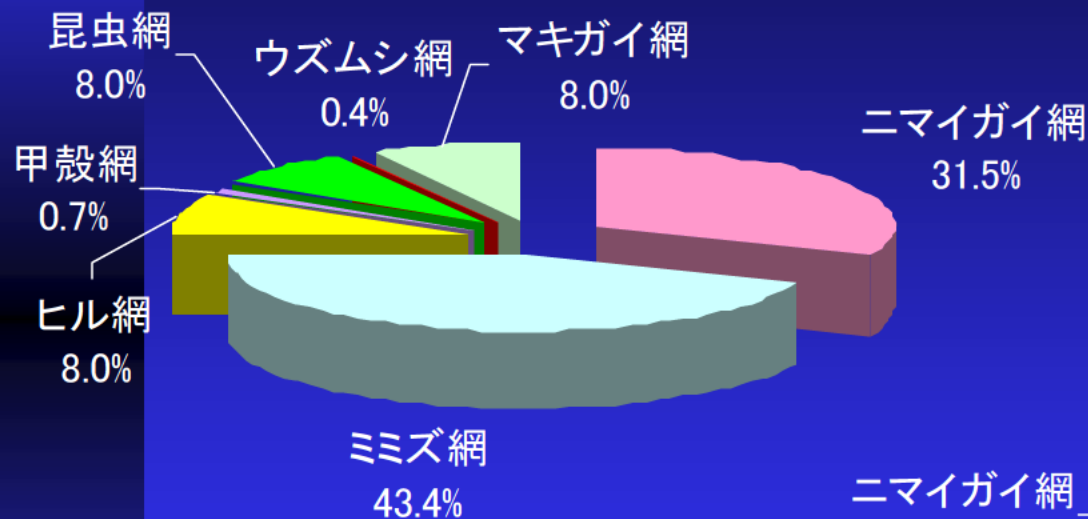
出典:平成10,11,12年度天ヶ瀬ダム湖生物調査

1.3 底生生物

【瀬田川の確認種】

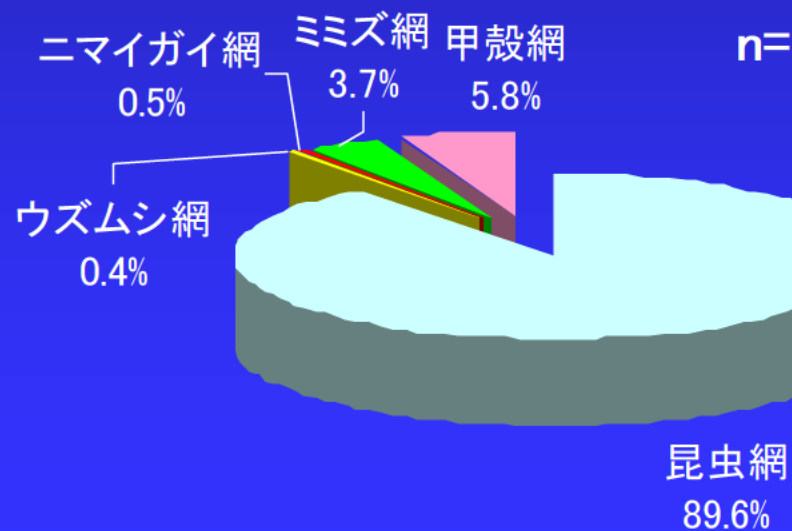
《洗堰上流(石山港)》

n=6765



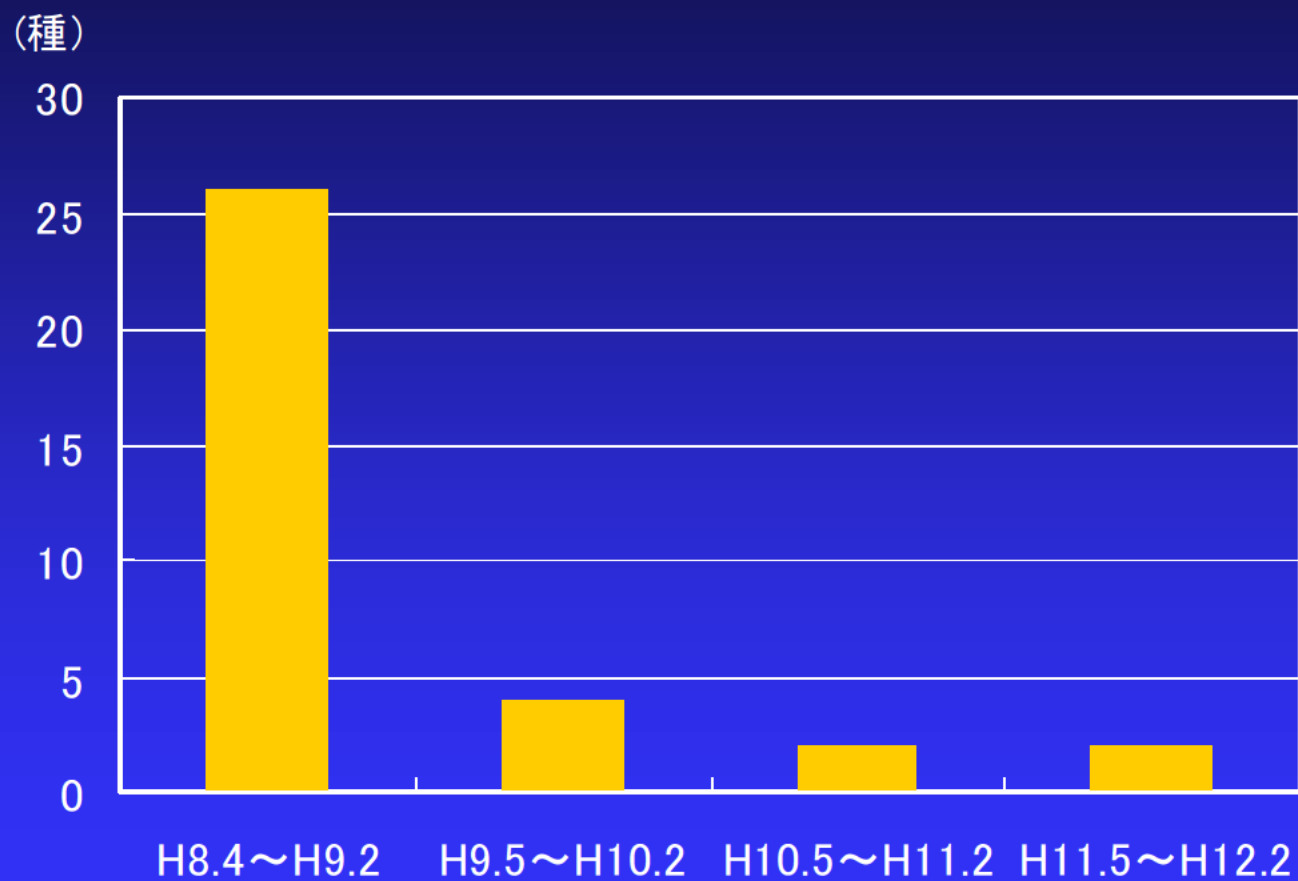
《洗堰下流(鹿跳橋)》

n=14552



1.3 底生生物

【日吉ダムの確認種】



調査地点: 日吉ダム湖

出典: 日吉ダムモニタリング調査

1.4 植物

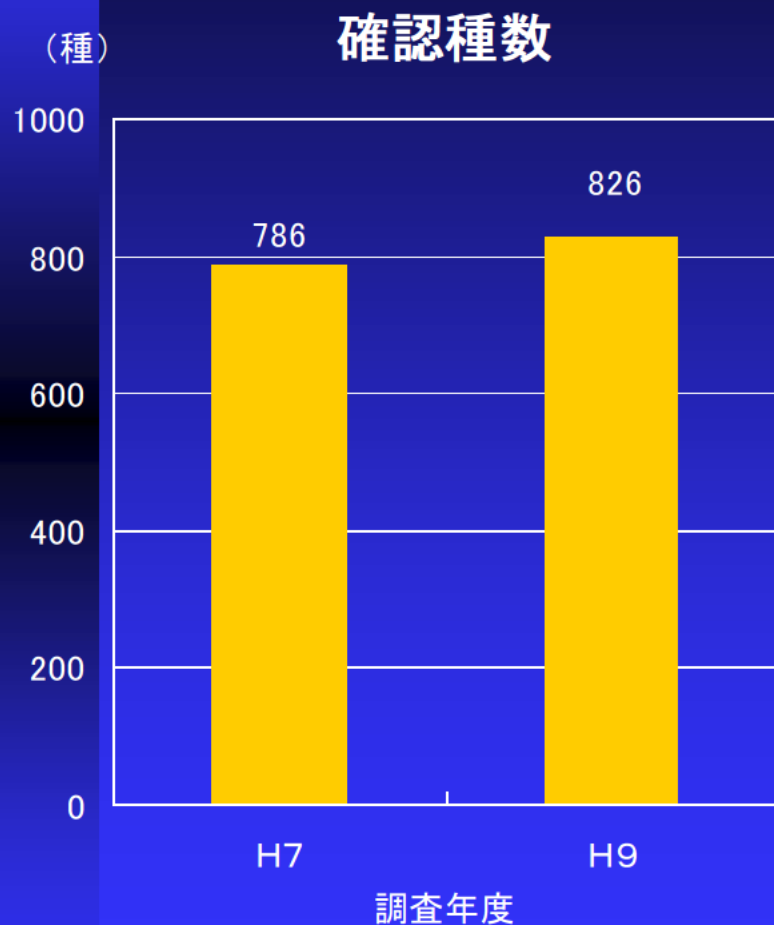
【淀川本川及び3支川の確認種（平成10年度）】

| 分類群 | 淀・宇治川 | | 木津川下流 | | 桂川 | | 合計 | |
|------|-------|-----|-------|-----|----|-----|-----|-----|
| | 科 | 種 | 科 | 種 | 科 | 種 | 科 | 種 |
| シダ植物 | 12 | 20 | 12 | 23 | 5 | 6 | 13 | 29 |
| 種子植物 | 96 | 477 | 90 | 464 | 64 | 253 | 106 | 633 |
| 合計 | 108 | 497 | 102 | 487 | 69 | 259 | 119 | 662 |

出典：平成10年度 水辺の国勢調査

1.4 植物

【天ヶ瀬ダム確認種】



| 分類群 | 平成7年度 | | 平成9年度 | |
|------|-------|-----|-------|-----|
| | 科 | 種 | 科 | 種 |
| シダ植物 | 21 | 91 | 16 | 89 |
| 種子植物 | 116 | 695 | 122 | 737 |
| 合計 | 137 | 786 | 138 | 826 |

出典：平成7,9年度水辺の国勢調査

1.4 植物

【瀬田川の確認種(平成10年度)】

平成7年度調査により87科344種が確認されています

| 分類群 | | 課 | 種 | |
|------|-------|------|-----|-----|
| シダ植物 | | 7 | 14 | |
| 裸子植物 | | 1 | 1 | |
| 被子植物 | 双子葉植物 | 離弁花類 | 43 | 148 |
| | | 合弁花類 | 23 | 82 |
| | 単子葉植物 | 13 | 99 | |
| 合計 | | 87 | 344 | |

1.4 植物

【植生分布凡例(淀川及び上流3川)】

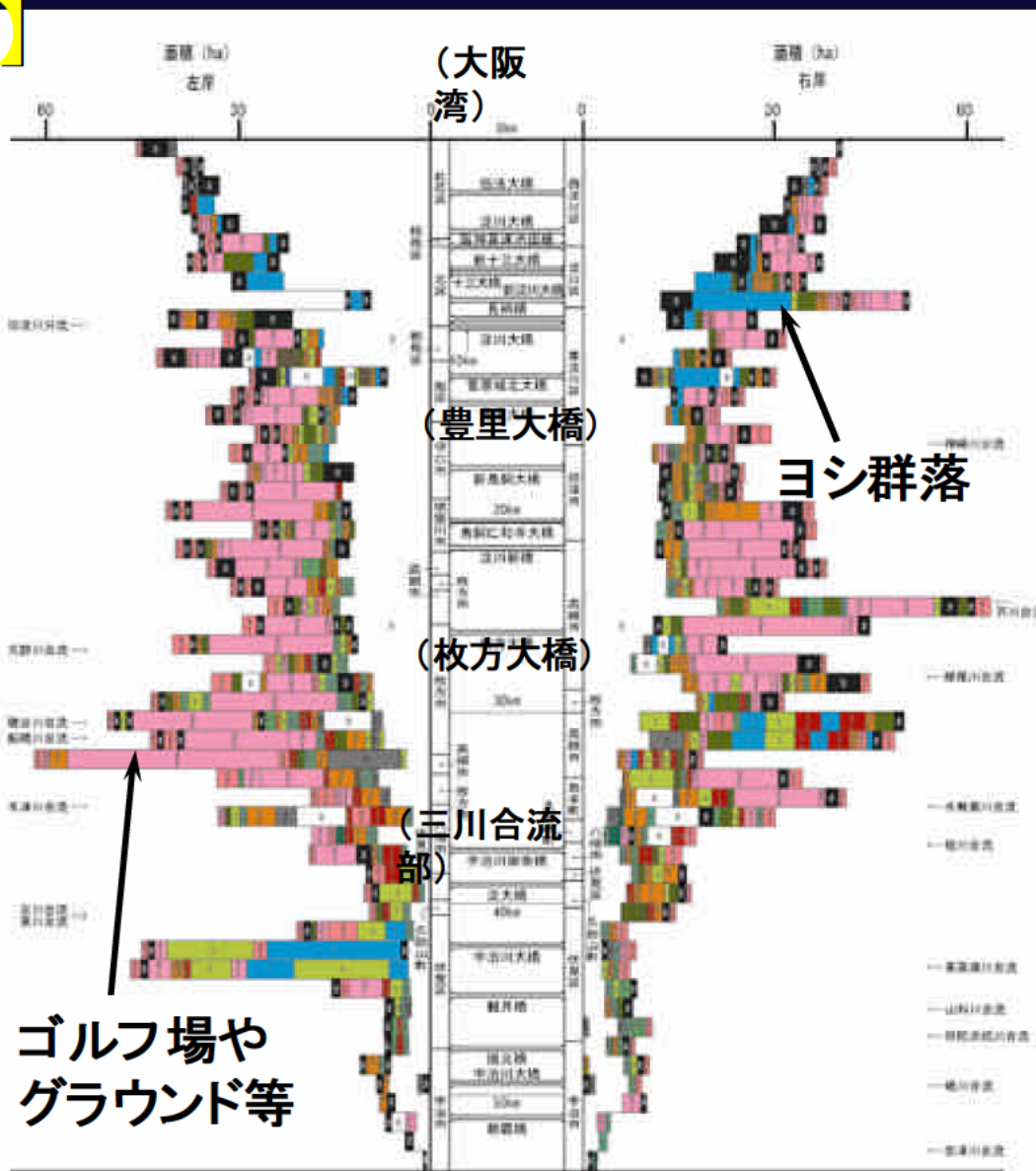
| 色見本 | 基本分類 | 群落名等 | 区分番号 | |
|-----|--------------|--------------|--------|----|
| 2 | 浮葉植物群落 | ホテイアオイ群落 | 2 | |
| 5 | 1 年生草本群落 | カナムグラ群落 | 5A | |
| 5 | | ヤナギタデ群落 | 5B | |
| 5 | | アリタソウ群落 | 5C | |
| 5 | | ホソアオゲイトウ群落 | 5D | |
| 5 | | アメリカカサネム群落 | 5E | |
| 5 | | ツルマメ群落 | 5F | |
| 5 | | ヤハズソウ群落 | 5G | |
| 5 | | ホウキギク群落 | 5H | |
| 5 | | コセンダングサ群落 | 5I | |
| 5 | | ヒメムカシヨモギ群落 | 5J | |
| 5 | | オオオナモミ群落 | 5K | |
| 6 | | 多年生広葉草原 | イタドリ群落 | 6A |
| 6 | | | ギンギン群落 | 6B |
| 6 | メドハギ群落 | | 6C | |
| 6 | ヨモギ群落 | | 6D | |
| 6 | セイタカアワダチソウ群落 | | 6E | |
| 6 | カワラヨモギ群落 | | 6F | |
| 7 | イネ科草原 | ヨシ群落 | 7 | |
| 8 | | ツルヨシ群落 | 8 | |
| 9 | その他のイネ科草原 | オギ群落 | 9 | |
| 10 | | イ群落 | 10A | |
| 10 | | メリケンカルカヤ群落 | 10B | |
| 10 | | ギョウギシノ群落 | 10C | |
| 10 | | シナダレスズメガヤ群落 | 10D | |
| 10 | | カゼサ群落 | 10E | |
| 10 | | チガヤ群落 | 10F | |
| 10 | | サヤヌカグサ群落 | 10G | |
| 10 | | ヌカキビ群落 | 10H | |
| 10 | | オオクサキビ群落 | 10I | |
| 10 | | キシノウスズメノヒエ群落 | 10J | |
| 10 | | セイタカヨシ群落 | 10K | |
| 10 | | キンエノコロ群落 | 10L | |
| 10 | セイシノモロコシ群落 | 10M | | |
| 10 | マコモ群落 | 10N | | |
| 10 | カササゲ群落 | 10O | | |
| 10 | ヒメガマ群落 | 10P | | |

| 色見本 | 基本分類 | 群落名等 | 区分番号 | |
|-----|----------|-------------|--------|-----|
| 11 | ヤナギ低木林 | ヤナギ低木林 | 11 | |
| 12 | ヤナギ高木林 | ヤナギ高木林 | 12 | |
| 13 | その他の低木林 | ヤマグワ群落 | 13A | |
| 13 | | ノイハ群落 | 13B | |
| 13 | | クス群落 | 13C | |
| 13 | | クコ群落 | 13D | |
| 13 | | ネザサ群落 | 13E | |
| 13 | | メダケ群落 | 13F | |
| 14 | | 落葉広葉樹林 | エノキ群落 | 14A |
| 14 | | | アキニレ群落 | 14B |
| 14 | | | シンジュ群落 | 14C |
| 16 | | 常緑広葉樹林 | アラカシ群落 | 16 |
| 18 | 植林地(竹林) | モウソウチク林 | 18 | |
| 19 | | 植林地(スギ・ヒノキ) | ヒノキ林 | 19 |
| 20 | 植林地(その他) | サクラ林 | 20A | |
| 20 | | キョウチクトウ林 | 20B | |
| 20 | | ハナエノキ林 | 20C | |
| 20 | | 多種植林地 | 20D | |
| 21 | 耕作地 | 果樹園 | 21 | |
| 22 | | 畑 | 22 | |
| 23 | | 水田 | 23 | |
| 24 | 人工草地 | 採草地 | 24A | |
| 24 | | 芝地 | 24B | |
| 25 | グラウンドなど | 人工裸地 | 25A | |
| 25 | | ゴルフ場 | 25B | |
| 25 | | グラウンド | 25C | |
| 25 | | 公園 | 25D | |
| 25 | | ゴミ捨て場 | 25E | |
| 26 | 人工構造物 | 人工構造物 | 26 | |
| 27 | 自然裸地 | 自然裸地 | 27 | |
| 28 | 開放水面 | 開放水面 | 28 | |

1.4 植物

【淀川・宇治川植生分布】

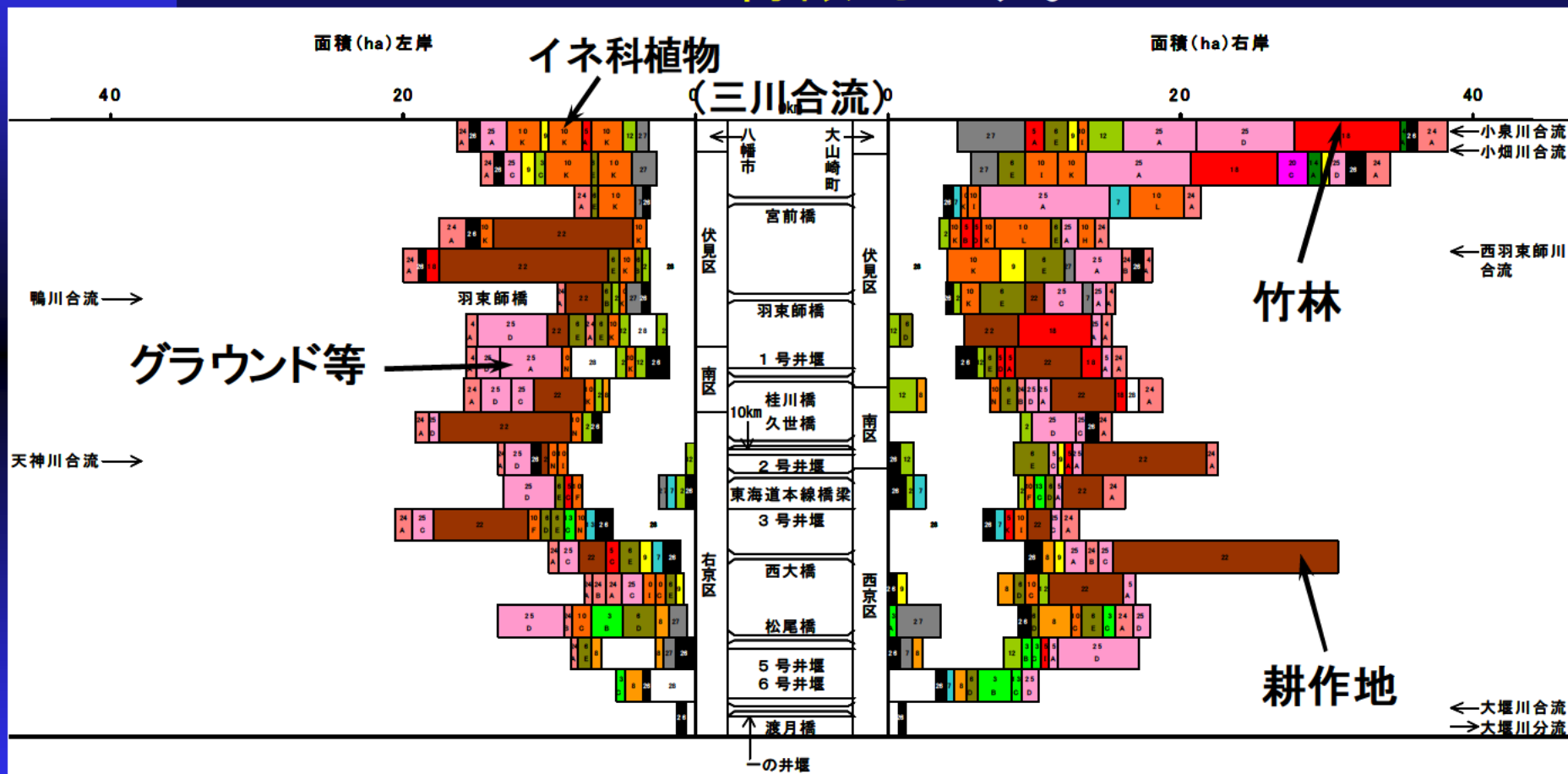
植物相では、ヨシ群落
が特徴的です。



1.4 植物

【桂川植生分布】

植物相では、竹林及びイネ科植物が特徴的です。

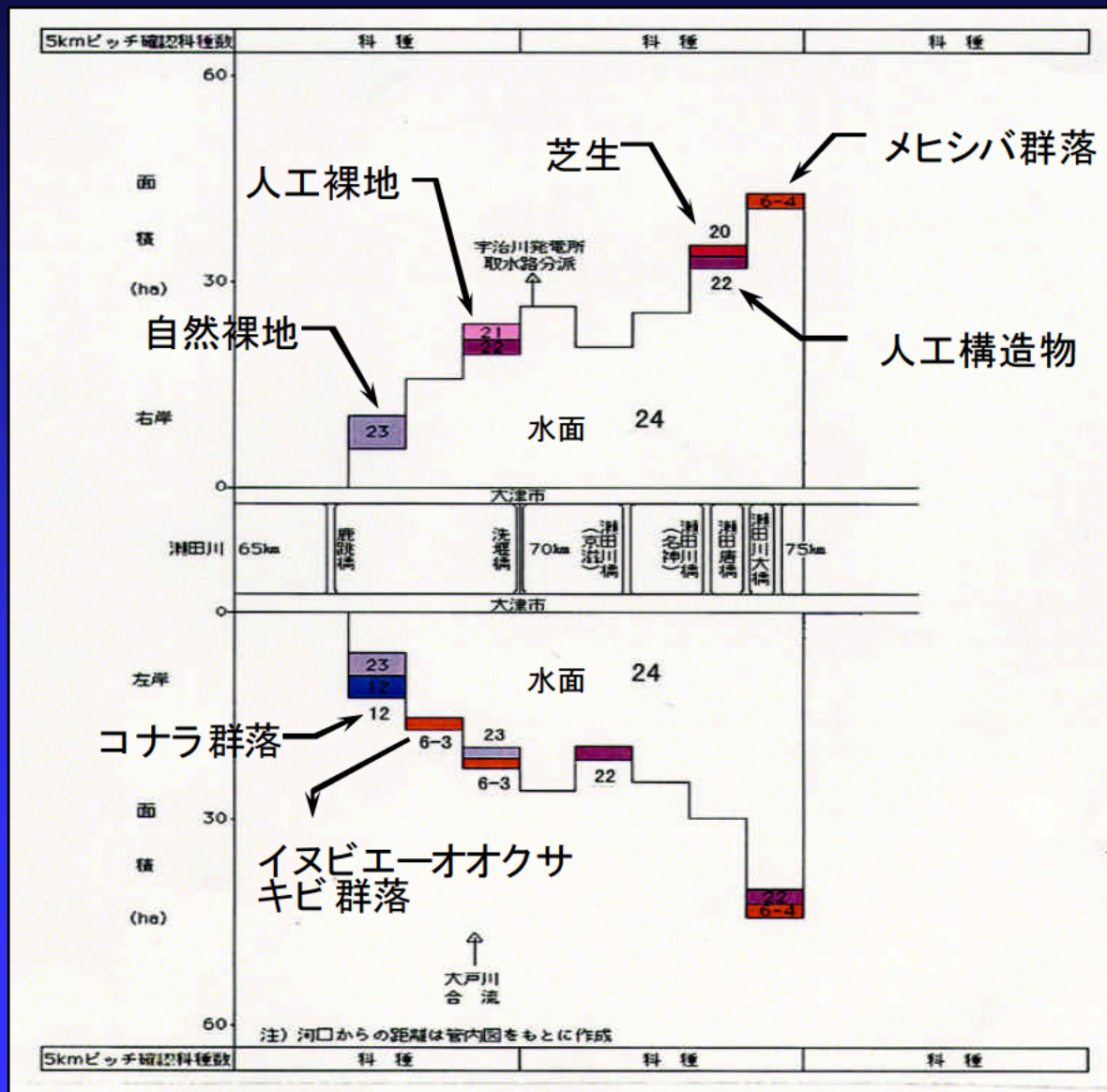


出典:平成12年度 淀川生態環境調査検討業務

1.4 植物

【瀬田川植生分布】

瀬田川の陸生植物相は乏しい。



1.4 植物

【増加、減少傾向にある植物】

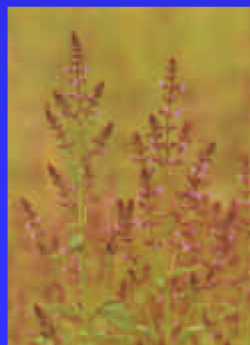
〔増加傾向にある植物〕

セイタカアワダチソウやカナムグラ等のツル性植物



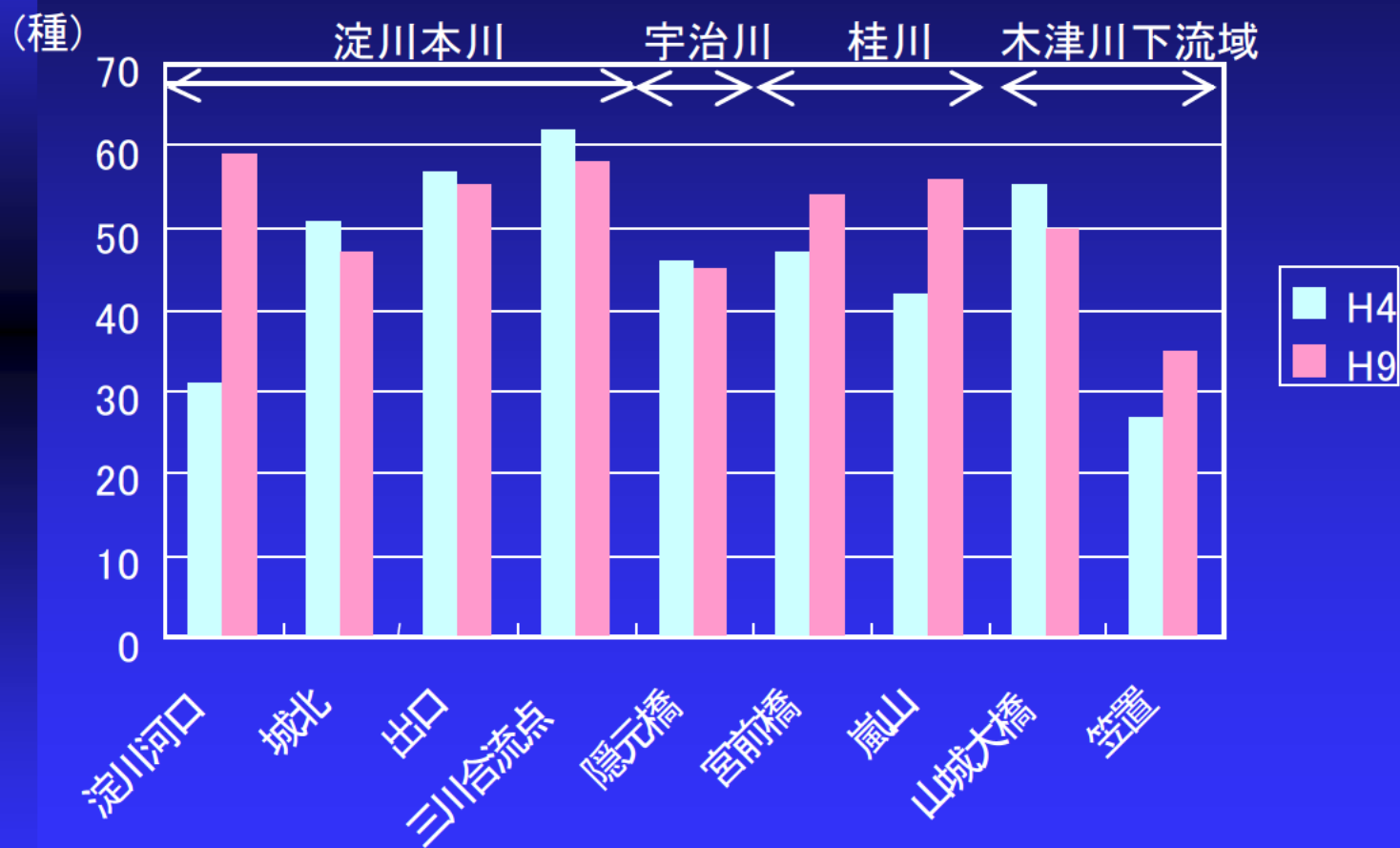
〔減少傾向にある植物〕

ノウルシ、ミゾコウジュ等の湿地性植物



1.5 鳥類

【淀川本川及び3支川の確認種】

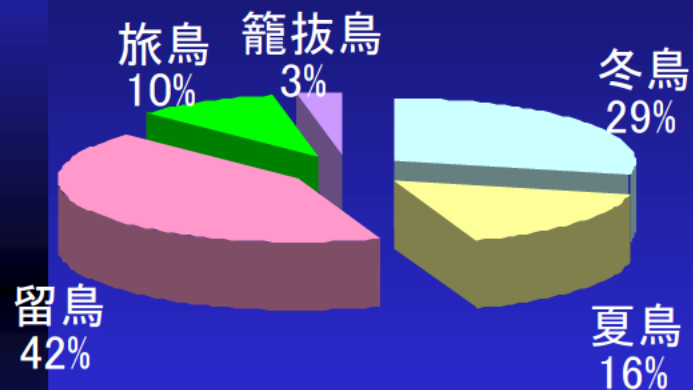


出典:平成4、9年度 河川水辺の国勢調査

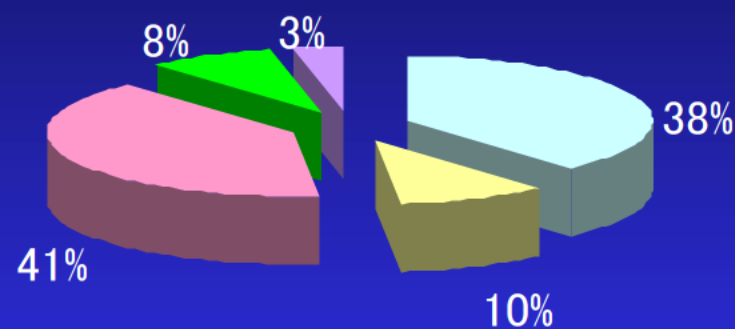
1.5 鳥類

【淀川本川及び3支川の確認種の区分(平成9年度)】

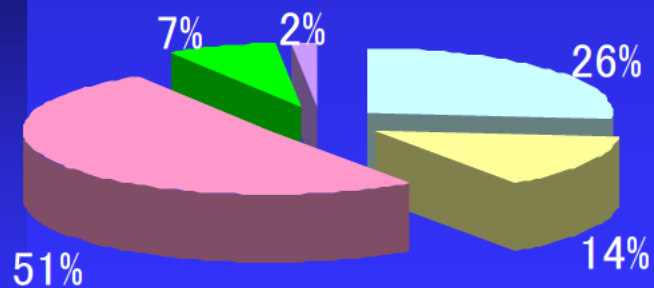
《宇治川》



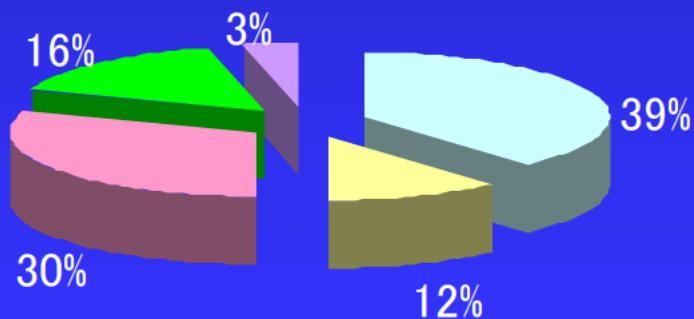
《桂川》



《木津川下流域》



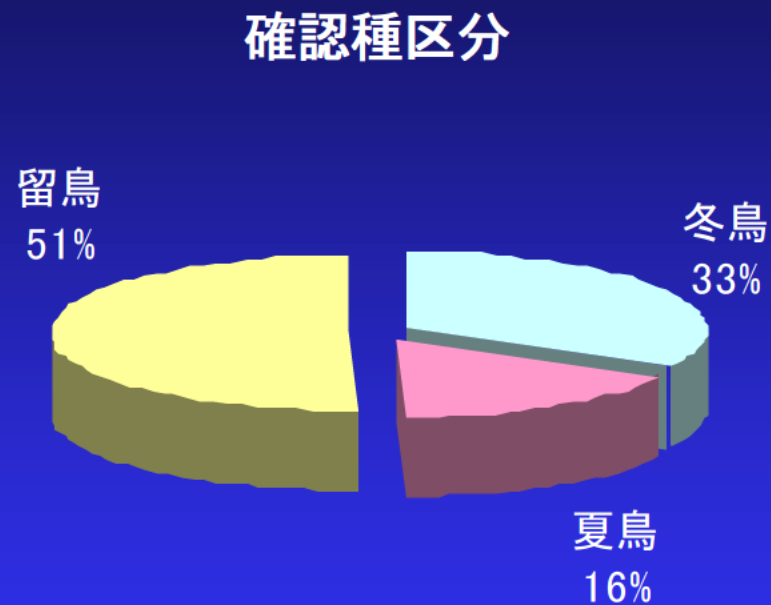
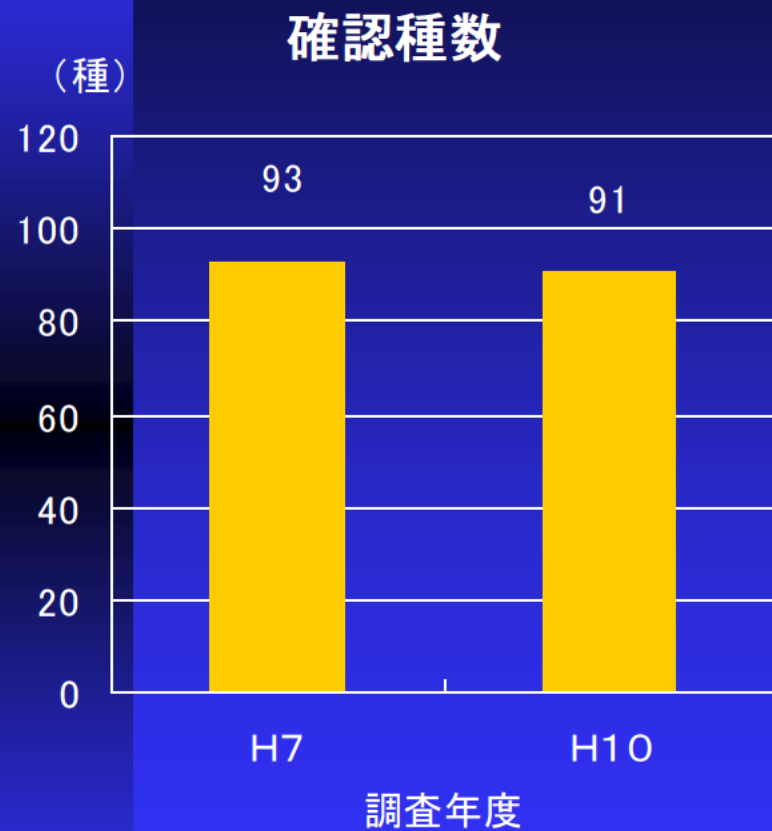
《淀川》



出典:平成9年度水辺の国勢調査

1.5 鳥類

【天ヶ瀬ダムの確認種】



出典:平成7,10年度水辺の国勢調査

1.5 鳥類

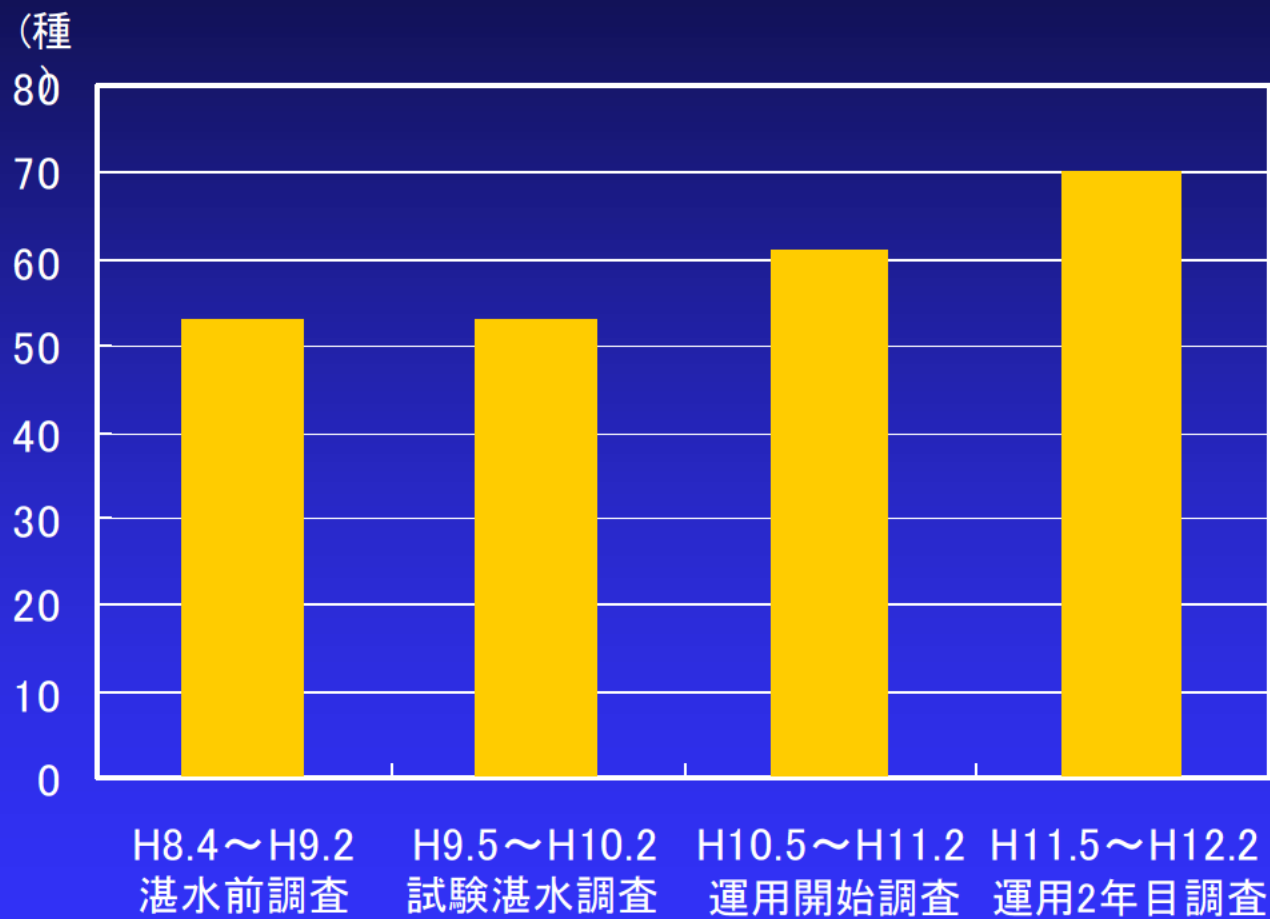
【瀬田川の確認種(平成10年度)】

| | |
|-------|------------|
| 繁殖前期 | 32種473個体 |
| 繁殖後期 | 33種580個体 |
| 秋の渡り期 | 34種571個体 |
| 越冬前期 | 46種2,168個体 |
| 越冬後期 | 47種2,862個体 |

69種、7,085個体が確認されました。ユリカモメ、ヒドリガモ等の越冬期の水鳥が多い傾向にあります。

1.5 鳥類

【日吉ダムの確認種】



調査地点: 日吉ダム全域

1.5 鳥類

【増加、減少傾向にある鳥類】

〔増加傾向にある鳥類〕

ホシハジロ、カンムリカイツブリ、カワウ等



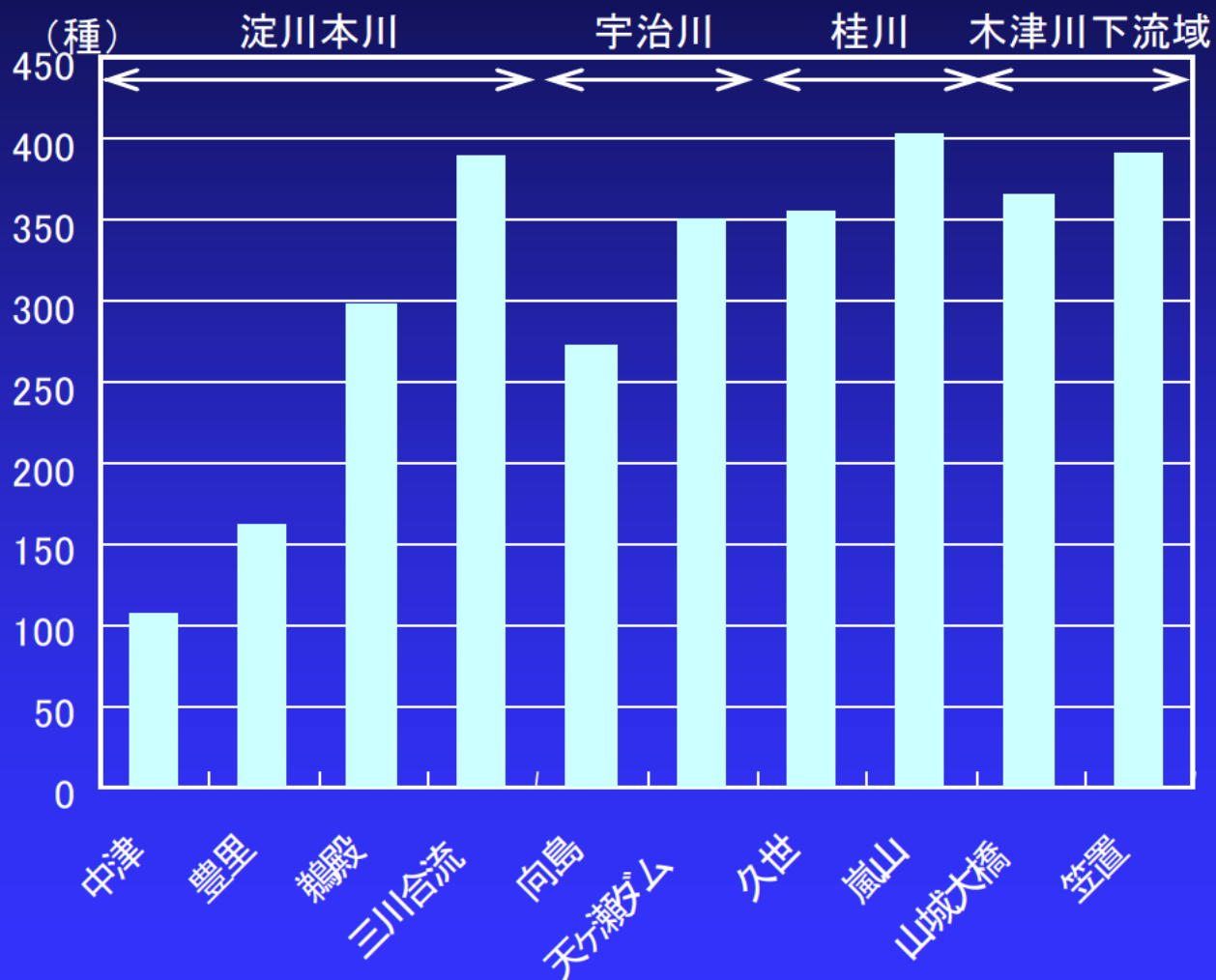
〔減少傾向にある鳥類〕

コガモ、オナガガモ、クイナ等



1.6 昆虫

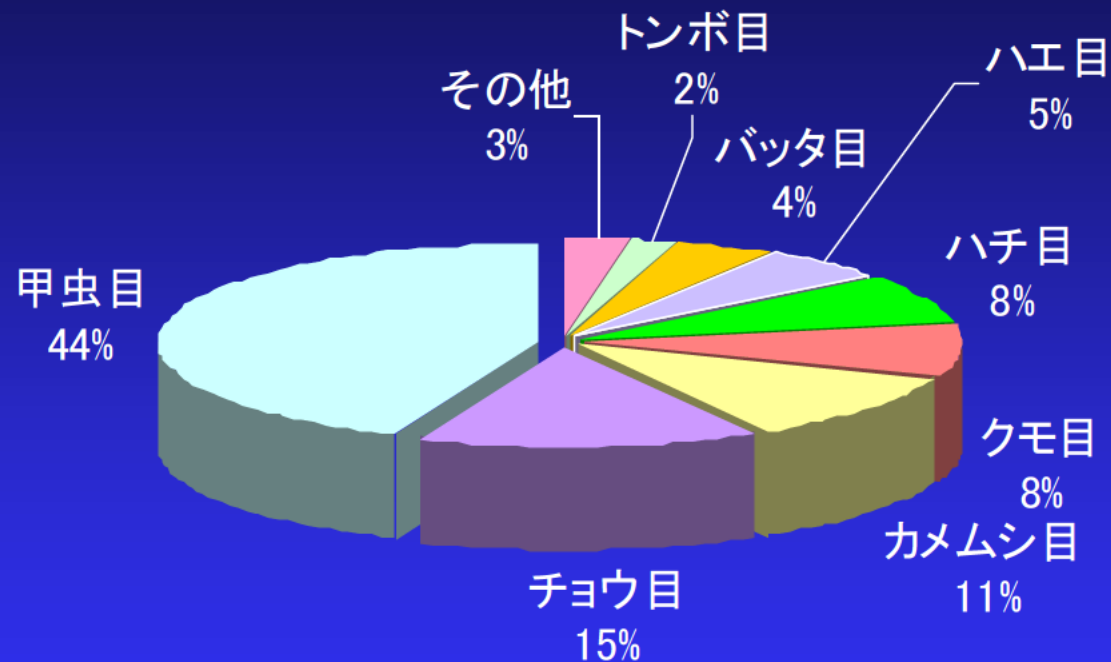
【淀川本川及び3支川の確認種(平成7年度)】



出典:平成7年度水辺の国勢調査

1.6 昆虫

【淀川本川及び3支川の確認種区分(平成7年度)】



出典:平成7年度水辺の国勢調査

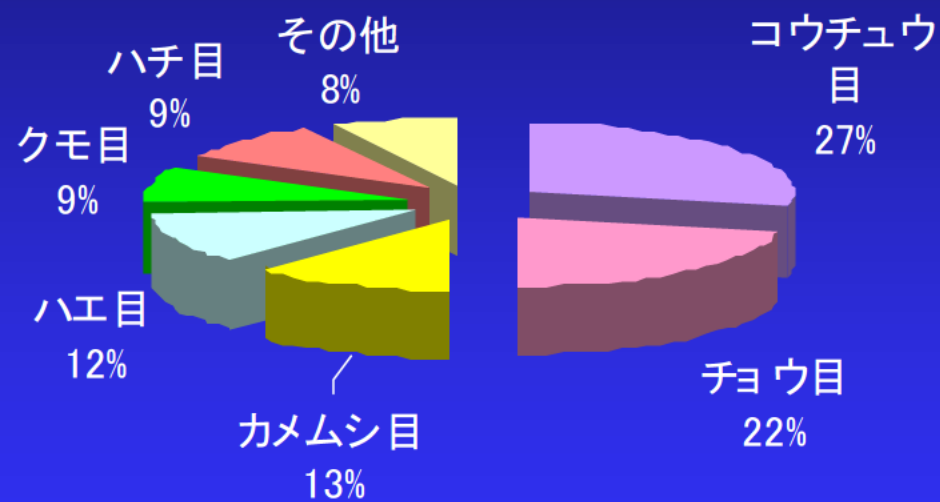
1.6 昆虫

【天ヶ瀬ダムの確認種】

確認種数



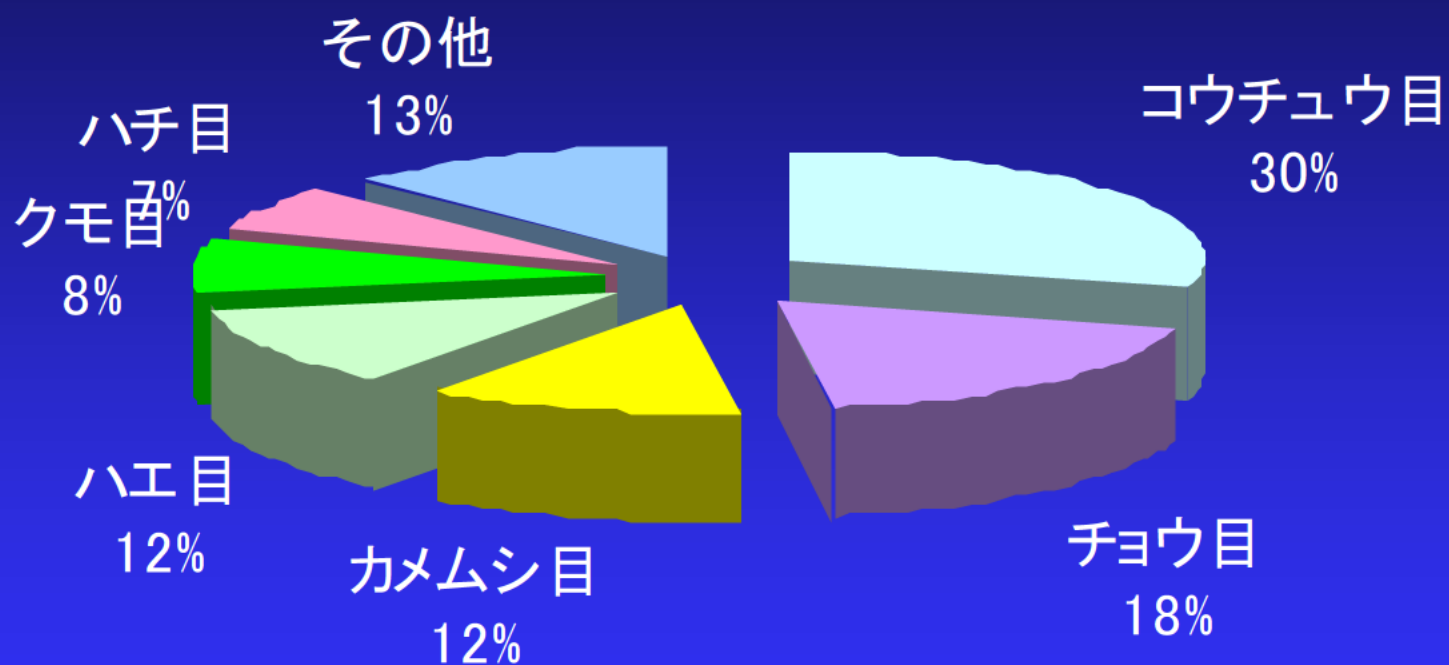
確認種区分 (平成11年度)



出典:平成7、11年度水辺の国勢調査

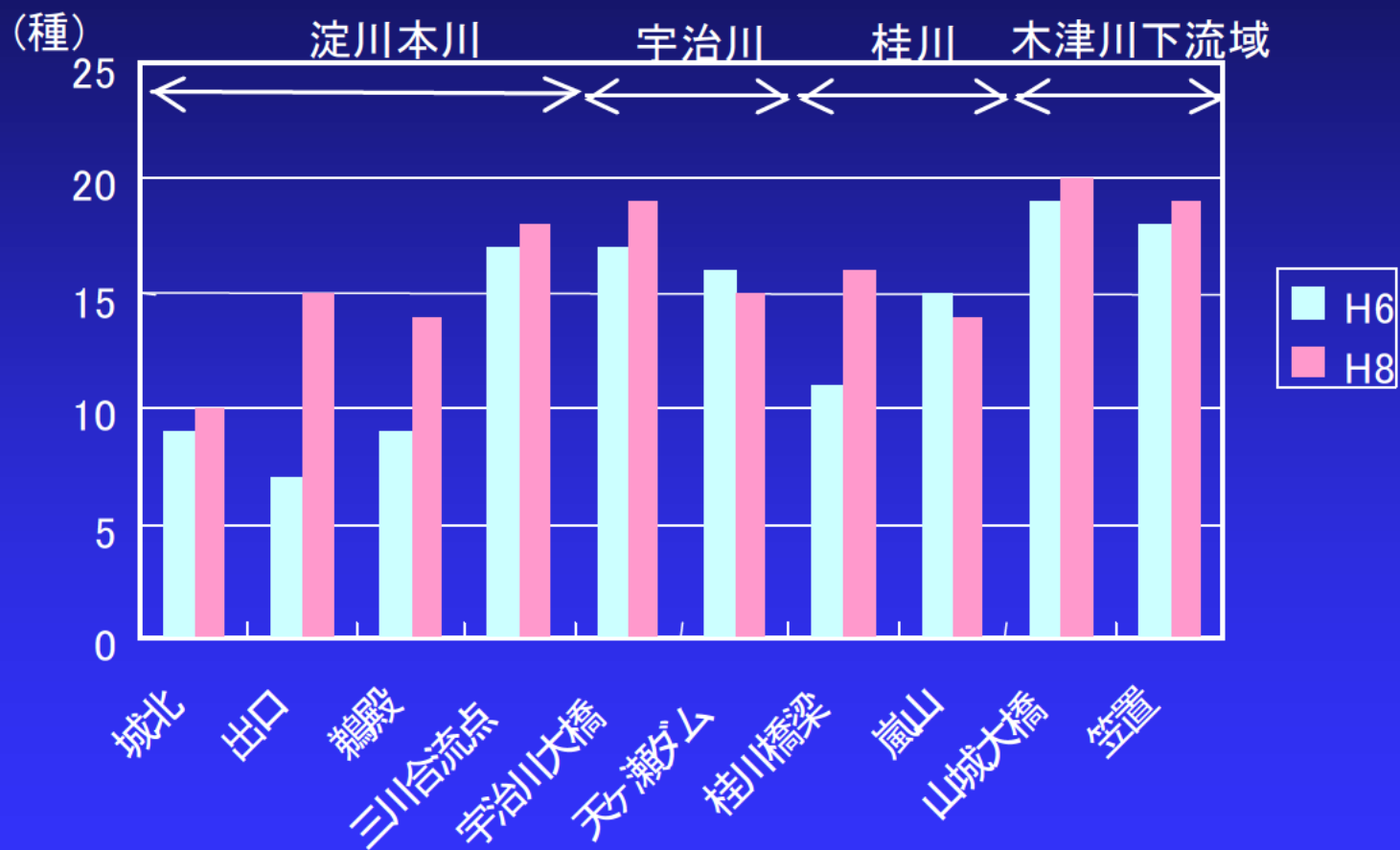
1.6 昆虫

【瀬田川の確認種区分(平成11年度)】



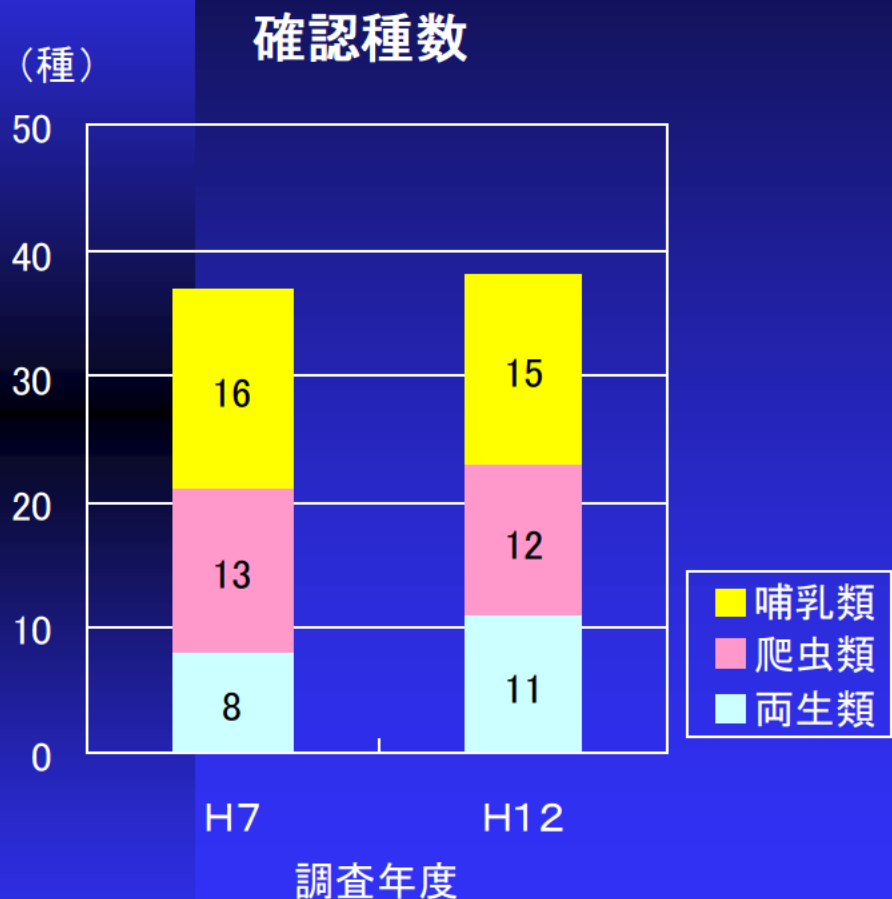
18目、192科、723種の陸上昆虫類が確認されています。

1.7 小動物(両生類、爬虫類、哺乳類) 【淀川及び3支川の確認種】



出典:平成6、8年度 河川水辺の国勢調査

1.7 小動物(両生類、爬虫類、哺乳類) 【天ヶ瀬ダムの確認種】



| 両生類 | 爬虫類 | 哺乳類 |
|-------------|--------------|-----------|
| ヒダサンショウウオ | クサガメ | ヒミズ |
| イモリ | ミシシippアカミミガメ | (コウベモグラ) |
| アマガエル | イシガメ | (モグラ属の一種) |
| タゴガエル | ヤモリ | (アブラコウモリ) |
| ニホンアカガエル | トカゲ | (ノウサギ) |
| トノサマガエル | カナヘビ | (ニホンリス) |
| (ダルマガエル) | タカチホヘビ | (ムササビ) |
| ウシガエル | シマヘビ | アカネズミ |
| ツチガエル | シロマダラ | ヒメネズミ |
| シュレーゲルアオガエル | ヒバカリ | カヤネズミ |
| モリアオガエル | (ヤマカガシ) | タヌキ |
| | マムシ | (キツネ) |
| | | (テン) |
| | | イタチ属の一種 |
| | | (イノシシ) |
| | | ホンドジカ |
| 11(1)種 | 12(1)種 | 15(9)種 |

()書きは目撃(写真なし)及びフィールドサイン
 その他は、捕獲及び目撃(写真あり)による確認

出典:平成7,12年度 河川水辺の国勢調査

1.7 小動物(両生類、爬虫類、哺乳類) 【瀬田川の確認種(平成8年度)】

| 両生類 | 爬虫類 | 哺乳類 |
|-----------------------------|------------------------------|---|
| アマガエル トノサマガエル (ウシガエル) | (イシガメ科の一種) (カナヘビ) シマヘビ | (モグラ属の一種) (ニホンザル) (ノウサギ) アカネズミ タヌキ (キツネ) テン チョウセンイタチ (イタチ属の一種) (ニホンイノシシ) (不明種:坑道) |
| 3(1)種 | 3(2)種 | 10(5)種 |

()書きは目撃(写真なし)およびフィールドサイン
 その他は捕獲および目撃(写真あり)による確認